

西都市SS過疎地対策計画

令和6年1月

宮崎県西都市

1. 計画の基本的事項	・・・ 2
2. 地域の現状	・・・ 5
3. 地域の燃料需要及びニーズの把握	・・・12
4. 地域の燃料安定供給機能の確保方策（SS過疎地対策計画）	・・・35
付録資料	・・・59

1. 計画の基本的事項

1-1.西都市SS過疎地対策計画の目的

● SS過疎地対策計画とは

- SS過疎地計画は、地域における新たな燃料供給体制の構築の推進、燃料の安定供給体制の確保を図ることを目的として、地域内の燃料需給の把握、燃料需給を踏まえて必要となる燃料供給体制（災害時を含む）やその運営体制・財源の検討、地域内の住民や事業者等関係者との合意形成等を経て策定する、**地域における燃料供給拠点の維持に係る計画（市町村の燃料供給に関する計画）**である。

● 西都市SS過疎地対策計画策定の目的

- 西都市は、居住地から15km以内にSSが存在しないエリアが存在するSS過疎地である。当該エリアは市中心部から離れた山間部に在る東米良地区になるが、地区内唯一のSSが令和4年に閉鎖されたため、地区の最大集落の最寄りのSSが25kmほど離れた西米良村のSSになるなどSS過疎地対象エリアが更に拡大した。現在、西米良村の一部地域を含め燃料供給に支障が生じている。
- また、本市中心部から東米良地区、西米良村を経て熊本県湯前町に至るまでは国道219号が主要道路となっているが、西米良村のSSが休日定休日となるため、本市穂北地区にあるSSから湯前町のSSまでの約65kmがSS不在の区間となる。そのため域外からの観光客や通行する車両の燃料確保にも大きな不安がある。
- SS過疎地エリアの東米良地区及び西米良村は、人口減少・高齢化が顕著な地域であるが、近年では東米良地区にて地域活性化の事業に取り組むNPO法人が設立されるなど地域活動が活発化しており、令和4年からは農村RMOの運営を開始し地域課題の解決に向けて取り組んでいる。その中で、燃料供給の問題に対し、地元を中心にジビエ工場・販売所を併設することで収益確保や人件費削減を行う効率的な複合施設のSSの設置・運営を目指して検討を始めた。
- これらの地域の特性や実情を踏まえ、西米良村と連携しながら地域振興に資することや地域が主体になることにより継続する燃料供給体制の確保を目指すため、西都市SS過疎地対策計画を策定するものである。

西都市SS過疎地対策計画の（燃料供給に関する計画）主な意義

○地域の燃料供給体制の維持・構築

（燃料供給拠点の維持に係る**住民・事業者等関係者間の合意**）

○財政的支援が拡大

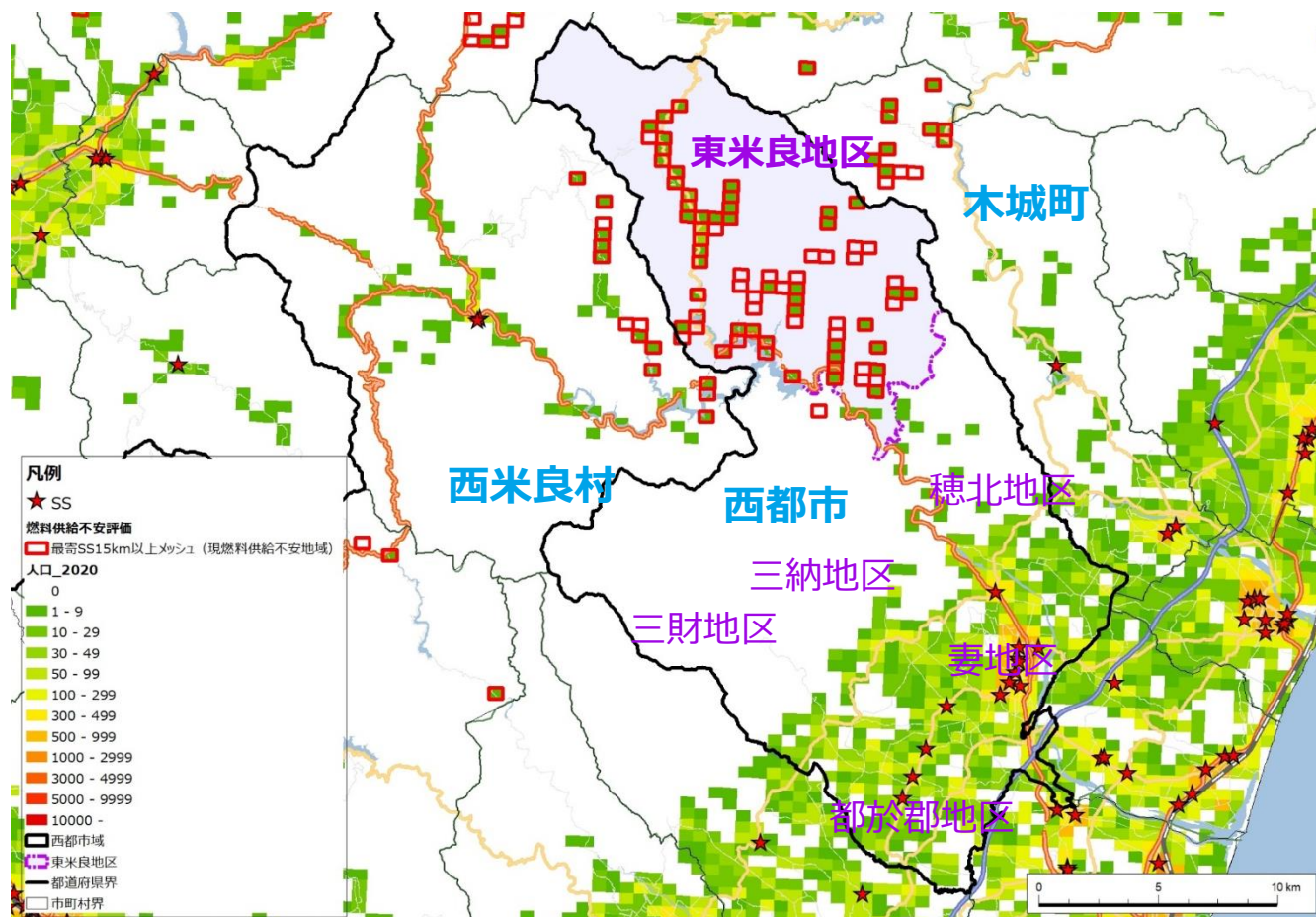
（地域の燃料供給拠点の**設備整備**における補助金の活用が可能）

○燃料供給拠点の設備整備の選択肢が拡大

（計画により住民合意があることで、**地上タンク式SS、どこでもスタンドの設置・導入が可能**）

1-2.西都市SS過疎地対策計画の対象範囲

- SS過疎地対策計画は、SS過疎地等における燃料供給拠点確保に向けた計画である。
- SS過疎地等とは、1市町村内のSS数が3カ所以下又は道路距離に応じたSS過疎の地域（最寄りSSまでの距離が15km以上離れている地域）を指すものである。西都市では、現在、市内にSS数は10箇所以上あるが、**最寄りSSまでの距離が15km以上離れている地域が存在しており、東米良地区のほぼ全域がこれに該当する。**
- このため、**本計画では、西都市全域を見据えつつ、東米良地区を燃料供給拠点確保に向けた具体的な計画の対象とする。**
- なお、今後、地域内のSSが減少し、市内に新たにSS過疎の地域が発生する場合、あるいは発生する恐れがある場合は、適宜、この計画を改訂し、必要な燃料供給体制の維持に向けた必要な対策を講じることとする。



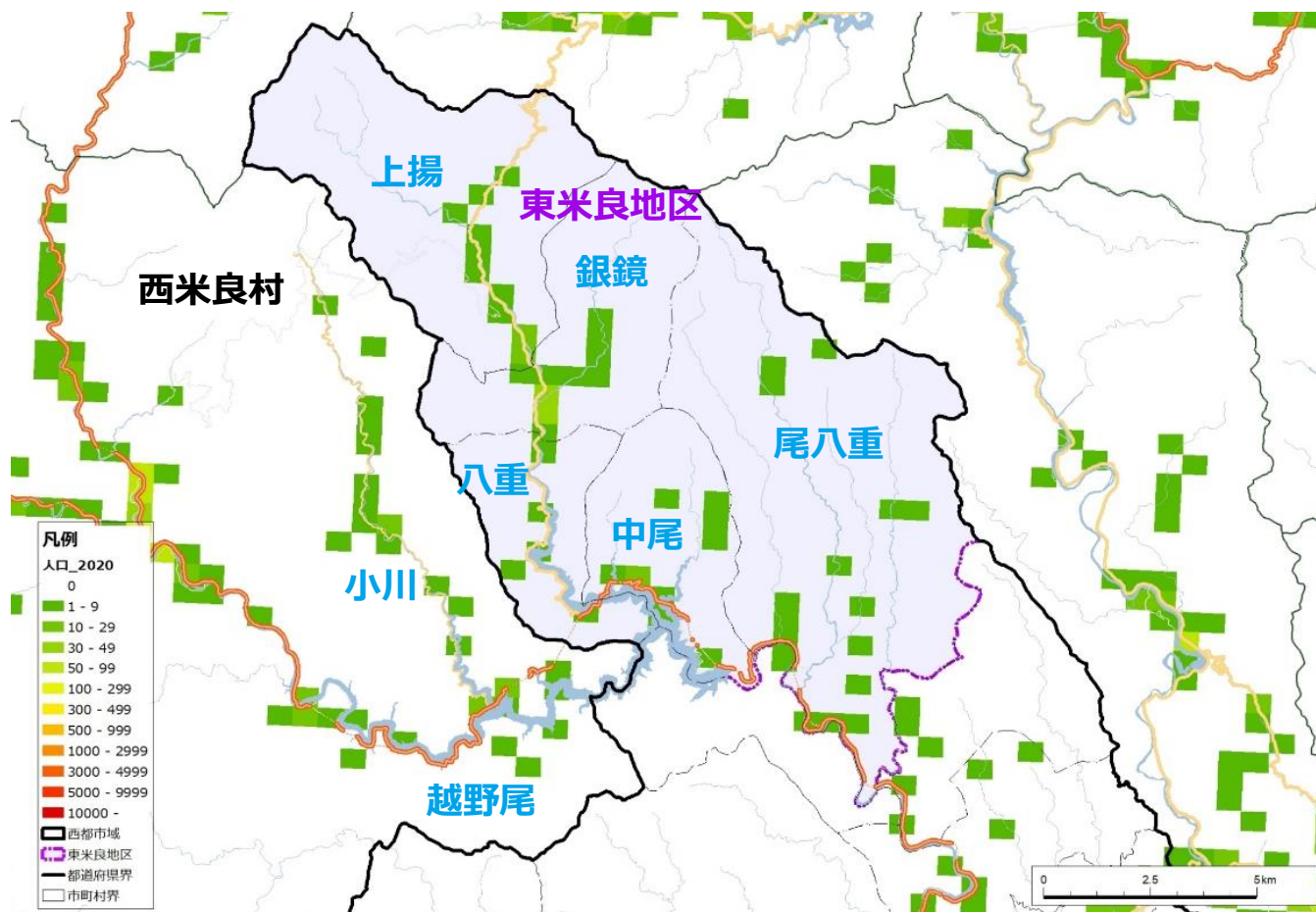
地区別の人口・世帯数
(令和5年10月1日時点の住民基本台帳人口)

	面積 (km ²)	総人口 (人)	65歳以上人口		65歳以上人口 割合 (%)	75歳以上人口 割合 (%)	世帯数 (世帯)	世帯当たり人 員 (人/世帯)
			65歳以上人口 (人)	75歳以上人口 (人)				
妻地区	32.74	15,628	5,119	2,785	32.8%	17.8%	6,625	2.36
穂北地区	65.91	3,567	1,695	922	47.5%	25.8%	1,510	2.36
三納地区	84.07	2,258	1,150	628	50.9%	27.8%	1,024	2.21
都府地区	27.4	2,721	1,286	714	47.3%	26.2%	1,223	2.22
三財地区	85.14	3,046	1,536	794	50.4%	26.1%	1,327	2.30
東米良地区	142.26	218	132	92	60.6%	42.2%	116	1.88
西都市 計	437.52	27,438	10,918	5,935	39.8%	21.6%	11,825	2.32

2. 地域の現状

2-1. 東米良地区の概況

- 西都市東米良地区は、西都市の西部、山間地域にあり、面積は142.26km²で西都市域の3割を超える。
- 地区は、大字上揚（かみあげ）、大字銀鏡（しろみ）、大字八重（はえ）、大字中尾（なかお）、大字尾八重（おはえ）の5つの大字で構成される。



2-2. 東米良地区の人口・世帯

- 東米良地区の人口は減少傾向が続いており、この20年で約5割、この10年で約3割減少している。
- 東米良地区の将来人口を推計したところ、引き続き減少の見通しであり、2040年頃には、現在のさらに半数程度になるものと推計される。

東米良地区人口の推移（国勢調査ベース）

総人口

	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	増減率（2010-2020）
西都市	35,381	34,087	32,614	30,683	28,610	▲12.3%
東米良地区	492	419	363	291	244	▲32.8%
大字上揚	96	78	76	66	58	▲23.7%
大字銀鏡	196	168	131	116	108	▲17.6%
大字八重	34	33	28	16	10	▲64.3%
大字中尾	43	58	59	46	31	▲47.5%
大字尾八重	123	82	69	47	37	▲46.4%

世帯数

	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	増減率（2010-2020）
西都市	12,201	12,364	12,197	12,004	11,783	▲3.4%
東米良地区	238	206	188	151	125	▲33.5%
大字上揚	46	38	43	38	30	▲30.2%
大字銀鏡	80	77	61	52	49	▲19.7%
大字八重	22	20	17	12	8	▲52.9%
大字中尾	22	23	22	18	13	▲40.9%
大字尾八重	68	48	45	31	25	▲44.4%

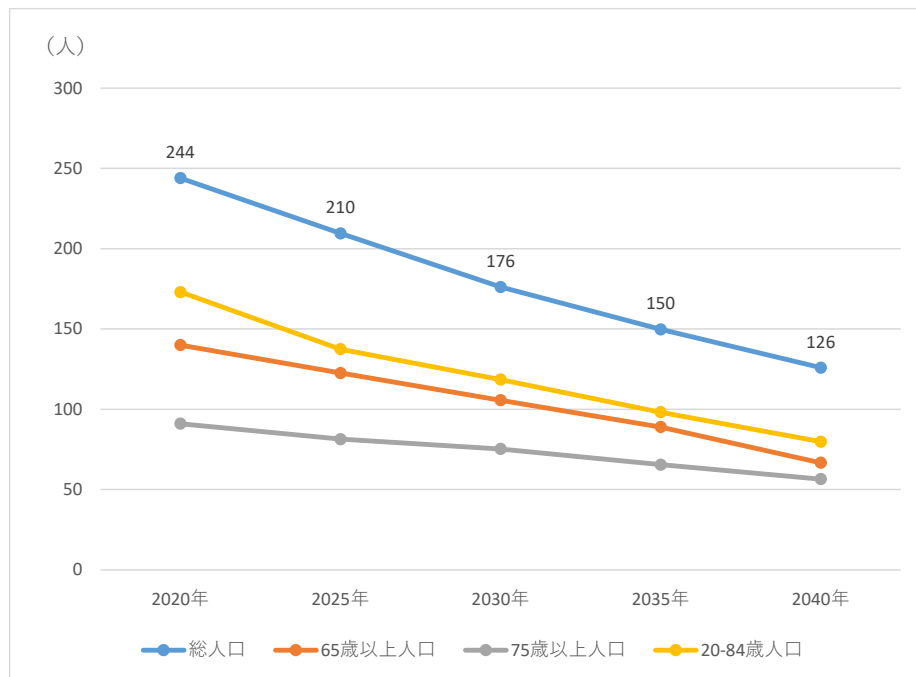
高齢者数

	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	増減率（2010-2020）
西都市	8,683	9,251	9,658	10,432	10,826	+12.1%
東米良地区	262	253	224	179	140	▲37.5%
大字上揚	52	47	42	35	27	▲35.7%
大字銀鏡	72	84	69	62	51	▲26.1%
大字八重	25	20	20	13	8	▲60.0%
大字中尾	28	45	42	36	24	▲42.9%
大字尾八重	85	57	51	33	30	▲41.2%

出所）総務省「国勢調査」

東米良地区の将来人口推計（試算）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	備考
総人口	244	210	176	150	126	
65歳以上人口	140	123	106	89	67	高齢者
75歳以上人口	91	81	75	65	57	後期高齢者
20-84歳人口	173	137	119	98	80	自動車運転者



出所）総務省「国勢調査」をもとに価値総合研究所推計

2-3.東米良地区の産業、地域づくり

- 東米良地区の就業者数は85人で、産業別の就業者数は農業35人（41%）で最も多い。
- 東米良地区では、2022年「東米良地区1000年協議会」が農村RMOとして設立され、地域住民を中心とした地域づくり活動が進められている。

東米良地区の産業別就業者数（2020年）

	西都市		東米良地区	
	就業者数	割合	就業者数	割合
農業	2,991	21%	35	41%
林業	119	1%	4	5%
漁業	22	0%	0	0%
鉱業、採石業等	4	0%	0	0%
建設業	1,150	8%	3	4%
製造業	1,695	12%	11	13%
電気・ガス等	46	0%	0	0%
情報通信業	76	1%	1	1%
運輸業、郵便業	402	3%	1	1%
卸売業、小売業	1,613	11%	2	2%
金融業、保険業	163	1%	0	0%
不動産業等	86	1%	0	0%
専門・技術サービス業等	188	1%	0	0%
宿泊業、飲食サービス業	514	4%	0	0%
生活関連サービス業等	449	3%	0	0%
教育、学習支援業	435	3%	10	12%
医療、福祉	1,880	13%	4	5%
複合サービス事業	356	3%	4	5%
サービス業	737	5%	1	1%
公務	587	4%	4	5%
分類不能の産業	514	4%	5	6%
就業者数	14,027	100%	85	100%

出所）総務省「国勢調査」

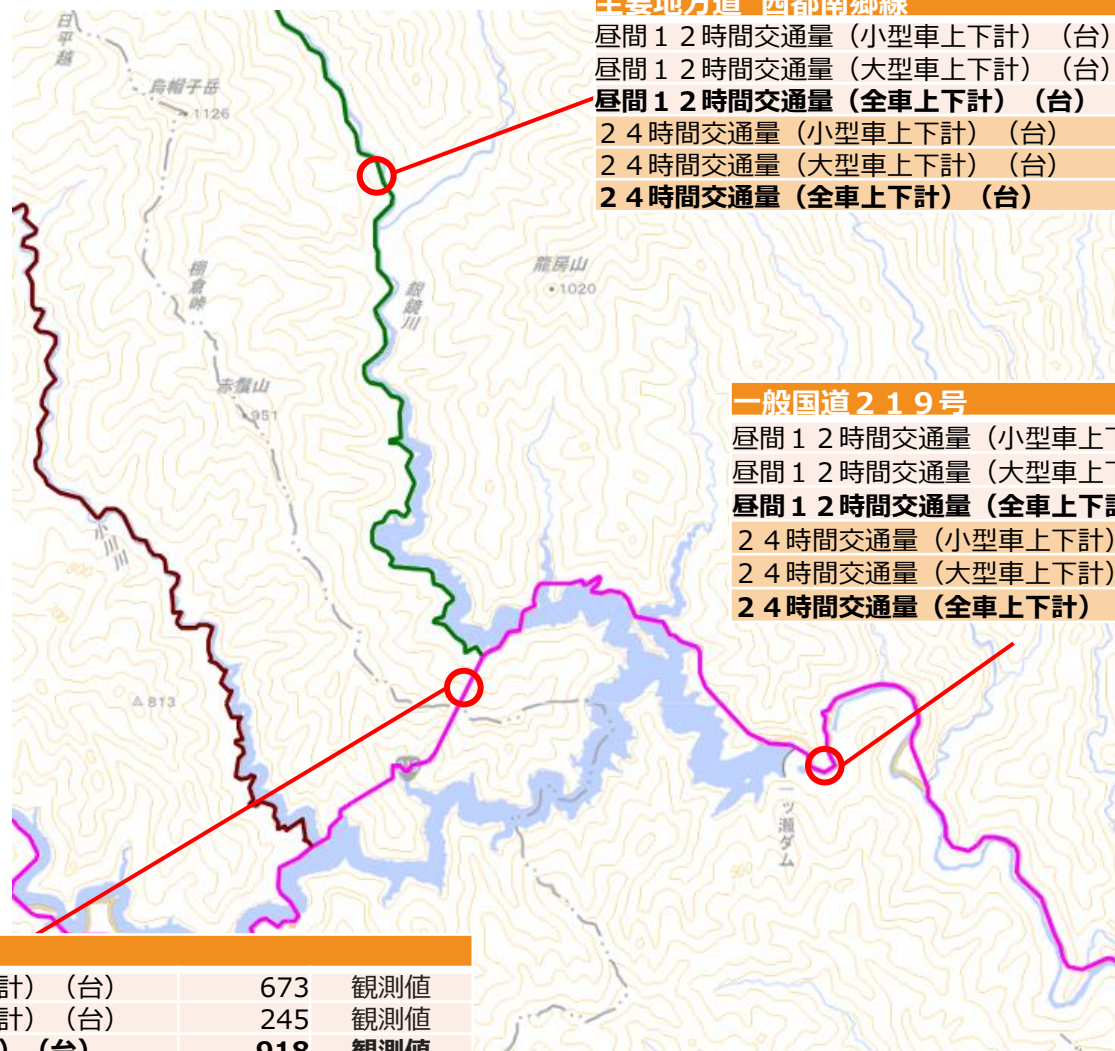
東米良地区の農業RMOの概要

事業実施主体 東米良地区1000年協議会（事務局：認定NPO法人 東米良創生会）

分野	概要
農用地保全	- 現在、営農を行っている農地で、継続して営農を行えるよう、また、休耕地の活用の推進のため以下に取り組む。 ○労働力の最適化【農業者、法人、猟友会】 ・ 農作物の管理や鳥獣被害防止の対策実施などの労働力について、企業間、農業者間、猟師間で融通し合える体制を構築する ・ また、ベテラン農林業者の技術を継承できるよう、技術の見える化を推進する。 ○IT機器の導入【東米良創生会】 ・ 農園管理や鳥獣の捕獲情報の共有等、労働力を軽減できる体制を構築する ○鳥獣被害防止の体制整備【東米良創生会、各自治会、猟友会】 ・ 有害鳥獣の個体数等を調査や、集落単位での柵の設置等を行い、効率的に被害を防止できる体制を整備する ○作業受託体制の整備【東米良創生会、農業者】 ・ 東米良創生会を中心に、水稻の受託作業ができる体制を整備する。 ○農道等の保管理体制の整備【各自治会】 ・ 生活道になっている基幹的な農道を中心に公民館単位で管理活動を行う。
地域資源活用	○農産物の流通・販売の体制整備【東米良創生会】 ・ 住民ボランティアで実施しているオンデマンドカー等を活用した、共同での農産物の物流体制の整備や、ネット販売、無人直売所の設置等、高齢者でも農業を続けることができる体制の整備 ○地場産品の商品化【東米良創生会、農業者、法人】 ・ ゆず、ジビエ、竹林等の地域資源を活用した商品開発の実施 ○遊休施設の再利用【東米良創生会】 ・ 地区交流施設・キャンプ場・宿泊所・食堂の整備を行い、都市農村交流や地域外の小中学生の生徒交流の実施、農泊や地場産品食材を使った料理の提供等の実施
生活支援	○災害・避難情報共有、住民安否確認の効率化【地域づくり協議会 社会福祉法人 東米良創生会 各自治会】 ・ 防災会議の開催。避難所アンケートの実施。避難困難者情報の共有。移動支援。 ○地域内の救急医療対応、福祉と市民活動の連携【社会福祉法人 東米良創生会】 ・ 診療所と救急時の情報共有と連携。地域住民の交流による平常時からの安否確認。地域包括ケアシステムの構築。 ○ネット学習・学習支援【東米良創生会】 ・ 高齢者のモバイルアプリやPCの使い方教室。生徒児童のPC・プログラミング教室の開催。自然体験学習の実施。

※農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）…複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。

2-4.道路状況 道路交通量



主要地方道 西都南郷線

昼間12時間交通量（小型車上下計）（台）	275	観測値
昼間12時間交通量（大型車上下計）（台）	23	観測値
昼間12時間交通量（全車上下計）（台）	298	観測値
24時間交通量（小型車上下計）（台）	352	推定値
24時間交通量（大型車上下計）（台）	32	推定値
24時間交通量（全車上下計）（台）	384	推定値

一般国道219号

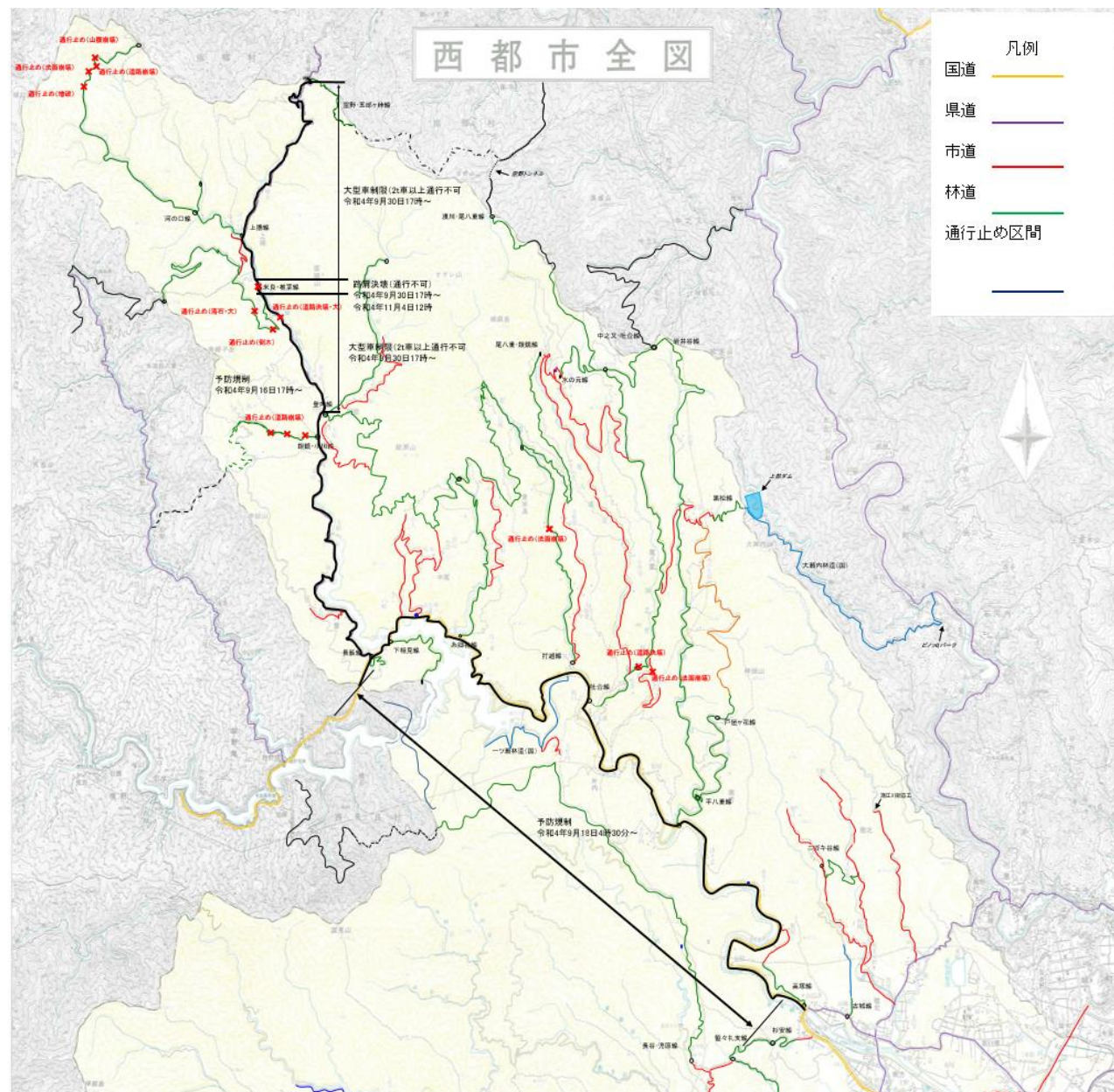
昼間12時間交通量（小型車上下計）（台）	986	観測値
昼間12時間交通量（大型車上下計）（台）	225	観測値
昼間12時間交通量（全車上下計）（台）	1,211	観測値
24時間交通量（小型車上下計）（台）	1,159	推定値
24時間交通量（大型車上下計）（台）	246	推定値
24時間交通量（全車上下計）（台）	1,405	推定値

一般国道219号

昼間12時間交通量（小型車上下計）（台）	673	観測値
昼間12時間交通量（大型車上下計）（台）	245	観測値
昼間12時間交通量（全車上下計）（台）	918	観測値
24時間交通量（小型車上下計）（台）	795	推定値
24時間交通量（大型車上下計）（台）	261	推定値
24時間交通量（全車上下計）（台）	1,056	推定値

2-4.道路状況 災害規制等

- 豪雨等の異常気象時には、西都市内と東米良地区を結ぶ国道219号（米良街道）をはじめ、主要道路も含めて、倒木、道路崩落などの災害規制や事前の通行規制等が行われる。



2-5. 燃料供給体制の現状

- 西都市内には、現在13箇所（うち1箇所閉鎖中）のSSがあるが、東米良地区においては、地区唯一のSSが令和4年度に閉鎖となったことで、東米良地区からの最寄のSSまでの距離は、穂北地区に最も近い場所で14km、最も離れた場所では28km程度となっている。



3. 地域の燃料需要及びニーズの把握

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○住民アンケート調査の概要

＜対 象＞ 西都市東米良地区の149世帯 西米良村越野尾地区、小川地区の72世帯 計221世帯

＜実施期間＞ 令和5年11月16日～11月30日

＜実施方法＞ 郵送配布・郵送回収

＜調査項目＞

- ✓ 基本属性（居住地区、世帯人数、世帯人員の年齢）
- ✓ 灯油の利用・購入状況（灯油利用の有無、灯油購入方法、灯油購入場所、購入頻度、購入量）
- ✓ 東米良地区にSSが再開された場合の灯油購入可能性
- ✓ 今後の灯油利用の見通し
- ✓ 灯油購入の不安
- ✓ 自動車用燃料の給油状況（給油場所、給油頻度、給油量）
- ✓ 東米良地区にSSが再開された場合の給油可能性
- ✓ 今後の自動車利用の見通し
- ✓ 自由意見

＜回収状況＞ 回収数113世帯／221世帯 （回収率51%）

地区	全体	発送数	回収率
東米良地区	75	149	50.3%
西米良村 越野尾、小川地区	36	72	50.0%
地区無回答	2	-	-
計	113	221	51.1%

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○回答世帯の基本属性

居住地区【単回答】

大字	全体	うち高齢者のみ世帯	うち75歳以上のみ世帯	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
西都市 上揚	13	9	6	13	0
西都市 銀鏡	38	20	11	38	0
西都市 八重	2	2	0	2	0
西都市 中尾	10	5	3	10	0
西都市 尾八重	12	7	5	12	0
西米良村 越野尾	19	6	1	0	19
西米良村 小川	17	10	7	0	17
回答者総数	111	59	33	75	36

全体	うち高齢者のみ世帯	うち75歳以上のみ世帯	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
11.7%	15.3%	18.2%	17.3%	0.0%
34.2%	33.9%	33.3%	50.7%	0.0%
1.8%	3.4%	0.0%	2.7%	0.0%
9.0%	8.5%	9.1%	13.3%	0.0%
10.8%	11.9%	15.2%	16.0%	0.0%
17.1%	10.2%	3.0%	0.0%	52.8%
15.3%	16.9%	21.2%	0.0%	47.2%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

世帯人員【単回答】

区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
単独世帯	49	32	21	38	9
2人世帯	38	25	11	25	13
3人以上世帯	25	2	0	11	14
回答者総数	112	59	32	74	36

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
43.8%	54.2%	65.6%	51.4%	25.0%
33.9%	42.4%	34.4%	33.8%	36.1%
22.3%	3.4%	0.0%	14.9%	38.9%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○灯油の利用状況

- 回答世帯の93.5%が灯油を利用しており、灯油使用機器としては、暖房機器やボイラー・給湯器が多い。
- 灯油の購入方法は、店頭購入が61.1%、配達購入が37.9%となっている。
- 灯油利用世帯の1世帯あたりの年間平均購入量は278Lとなっている。

【灯油】

○灯油使用機器の有無

【単回答】	区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	あり	100	52	27	67	31
	なし	7	4	4	4	3
	回答者総数	107	56	31	71	34

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
93.5%	92.9%	87.1%	94.4%	91.2%
6.5%	7.1%	12.9%	5.6%	8.8%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【複数回答】

選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
1. 暖房機器（ストーブ、ヒーター等）	89	44	25	59	28
2. ボイラー・給湯器（風呂、台所等）	66	36	19	41	23
3. 農業用機器（温室、乾燥機等）	17	12	5	10	7
4. その他	0	0	0	0	0
回答者総数	100	52	27	67	31

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
89.0%	84.6%	92.6%	88.1%	90.3%
66.0%	69.2%	70.4%	61.2%	74.2%
17.0%	23.1%	18.5%	14.9%	22.6%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○灯油購入方法

【単回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1. 自分や家族が直接店舗に行き、ポリタンク等で購入している	58	33	13	40	16
	2. 必要な時に電話等で注文し、配達してもらっている	36	15	10	21	15
	3. その他	1	1	1	1	0
	回答者総数	95	49	24	62	31

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
61.1%	67.3%	54.2%	64.5%	51.6%
37.9%	30.6%	41.7%	33.9%	48.4%
1.1%	2.0%	4.2%	1.6%	0.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○灯油購入量（年間）

【数値】	区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	100L未満	14	6	5	11	2
	100L以上～300L未満	46	25	12	32	13
	300L以上～500L未満	16	10	2	9	7
	500L以上～1000L未満	10	2	1	6	4
	1000L以上	4	3	2	3	1
	回答者総数	90	46	22	61	27

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
15.6%	13.0%	22.7%	18.0%	7.4%
51.1%	54.3%	54.5%	52.5%	48.1%
17.8%	21.7%	9.1%	14.8%	25.9%
11.1%	4.3%	4.5%	9.8%	14.8%
4.4%	6.5%	9.1%	4.9%	3.7%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（単位：L/年）

	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
平均購入量	278	278	280	267	316

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○灯油の購入状況、東米良地区にSSが再開された場合の購入意思

- 灯油の購入先は、東米良地区住民は穂北の中武商事が53%で最も多く、西米良村住民はJASSが最も多い。
- 地区内にSSが再開された場合の購入意思は、東米良地区住民は70.8%、西米良村住民は64.5%が「購入すると思う」としている。

○主な灯油購入場所

【単回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
	1. 西米良村所のJASS	26	11	4	2	23
	2. 西米良村所の柴下商店	1	1	1	0	1
	3. 西都市穂北の中武商事（TOSEKI）	36	22	13	35	1
	4. それ以外の西都市内のガソリンスタンド	17	6	4	14	2
	5. 西都市内のホームセンター（ナフコ、コメリ、ダイレックス）	12	7	1	8	4
	6. その他	7	5	3	7	0
	回答者総数	99	52	26	66	31

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
26.3%	21.2%	15.4%	3.0%	74.2%
1.0%	1.9%	3.8%	0.0%	3.2%
36.4%	42.3%	50.0%	53.0%	3.2%
17.2%	11.5%	15.4%	21.2%	6.5%
12.1%	13.5%	3.8%	12.1%	12.9%
7.1%	9.6%	11.5%	10.6%	0.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○地区内にSSが再開された場合の灯油購入意思

【単回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
	1. 購入すると思う	68	35	15	46	20
	2. 配達をしてくれるならそこで購入すると思う	14	10	7	10	4
	3. そこでは購入しないと思う	16	6	4	9	7
	4. その他	0	0	0	0	0
	回答者総数	98	51	26	65	31

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
69.4%	68.6%	57.7%	70.8%	64.5%
14.3%	19.6%	26.9%	15.4%	12.9%
16.3%	11.8%	15.4%	13.8%	22.6%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(単位：L/年)

※再開SSの購入意思別灯油購入量

	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
1. 購入すると思う	239	205	144	234	266
2. 配達をしてくれるならそこで購入すると思う	392	431	421	450	200

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○東米良地区にSSが再開された場合の、灯油購入の許容価格差

- 東米良地区にSSが再開された場合の、灯油購入の許容価格差は、平均11.5円/Lで、3円以下の場合9割以上が許容範囲内となる。
- 灯油購入の不安は、東米良地区では、豪雨などで道路通行止めになった場合の不安、西米良村では、自分で買いに行けなくなるのではないかと不安が多い。

○地区内SSで灯油を購入する場合の許容価格差

【数値】	区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1円～2円	5	1	1	3	2
	3円	8	3	0	4	4
	4円	1	1	0	0	1
	5円	21	11	4	14	6
	6円～9円	0	0	0	0	0
	10円～19円	21	12	9	17	4
	21円以上	10	5	0	7	3
	回答者総数	66	33	14	45	20

(単位：円/L)

	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
平均許容価格差	11.5	14.5	19.0	9.6	15.9

区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
3円以下許容	61	32	13	42	18
5円以下許容	52	28	13	38	13
10円以下許容	31	17	9	24	7

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
7.6%	3.0%	7.1%	6.7%	10.0%
12.1%	9.1%	0.0%	8.9%	20.0%
1.5%	3.0%	0.0%	0.0%	5.0%
31.8%	33.3%	28.6%	31.1%	30.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
31.8%	36.4%	64.3%	37.8%	20.0%
15.2%	15.2%	0.0%	15.6%	15.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
92.4%	97.0%	92.9%	93.3%	90.0%
78.8%	84.8%	92.9%	84.4%	65.0%
47.0%	51.5%	64.3%	53.3%	35.0%

○灯油購入の不安

【複数回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1. 現在購入している店舗が閉鎖したり、配達をやめたりしてしまうのではないかと不安	35	21	11	24	11
	2. 豪雨などで道路通行止となった際に、しばらく灯油が入手できなくなるのではないかと不安	51	27	15	37	12
	3. 高齢になり、自分で車を運転して灯油を買いに行けなくなるのではないかと不安	48	35	16	30	17
	4. 特に不安はない	15	5	2	7	8
	5. その他	0	0	0	0	0
	回答者総数	95	50	24	64	29

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
36.8%	42.0%	45.8%	37.5%	37.9%
53.7%	54.0%	62.5%	57.8%	41.4%
50.5%	70.0%	66.7%	46.9%	58.6%
15.8%	10.0%	8.3%	10.9%	27.6%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○自動車用燃料の利用状況（1台目）

- 1台目の自動車については、レギュラーガソリン車の使用率が77.5%となっている。

【自動車（1台目）】

○主たる利用者の年齢

【数値】	区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
	25歳未満	0	0	0	0	0
	25歳～44歳	11	1	1	8	3
	45歳～64歳	28	1	0	18	9
	65歳～74歳	29	20	0	19	9
	75歳～84歳	19	17	12	12	7
	85歳以上	3	2	2	1	2
	回答者総数	90	41	15	58	30

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12.2%	2.4%	6.7%	13.8%	10.0%
31.1%	2.4%	0.0%	31.0%	30.0%
32.2%	48.8%	0.0%	32.8%	30.0%
21.1%	41.5%	80.0%	20.7%	23.3%
3.3%	4.9%	13.3%	1.7%	6.7%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○燃料

【単回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
	1. ハイオクガソリン	3	2	1	3	0
	2. レギュラーガソリン	86	39	14	55	29
	3. 軽油（ディーゼル）	1	1	1	1	0
	回答者総数	90	42	16	59	29

(1台目) 総世帯数に占めるレギュラーガソリン車使用率	77.5%	66.1%	42.4%	73.3%	80.6%
(1台目) 総世帯数に占めるディーゼル車使用率	0.9%	1.7%	3.0%	1.3%	0.0%

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
3.3%	4.8%	6.3%	5.1%	0.0%
95.6%	92.9%	87.5%	93.2%	100.0%
1.1%	2.4%	6.3%	1.7%	0.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○自動車用燃料の給油状況（1台目）

- 1台目の自動車の年間平均給油量は976Lとなっている。
- 主な給油所は、東米良地区住民は穂北の中武商事、西米良地区住民はJASSが最も多い。

○1回あたり給油量

【数値】	区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	20L未満	16	5	0	12	3
	20L以上～30L未満	42	25	10	25	17
	30L以上～40L未満	12	3	0	8	3
	40L以上	15	6	3	10	5
	回答者総数	85	39	13	55	28

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
18.8%	12.8%	0.0%	21.8%	10.7%
49.4%	64.1%	76.9%	45.5%	60.7%
14.1%	7.7%	0.0%	14.5%	10.7%
17.6%	15.4%	23.1%	18.2%	17.9%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○ひと月あたり給油回数

【数値】	区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1回未満	4	2	2	4	0
	1回	11	7	3	7	4
	2回	19	10	3	12	6
	3回	19	10	1	12	7
	4回	21	6	3	14	6
	5回以上	12	4	1	7	5
	回答者総数	86	39	13	56	28

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
4.7%	5.1%	15.4%	7.1%	0.0%
12.8%	17.9%	23.1%	12.5%	14.3%
22.1%	25.6%	23.1%	21.4%	21.4%
22.1%	25.6%	7.7%	21.4%	25.0%
24.4%	15.4%	23.1%	25.0%	21.4%
14.0%	10.3%	7.7%	12.5%	17.9%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○年間平均給油量

	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
平均給油量	976	806	807	975	979
ハイオクガソリン	1,328	1,392	1,440	1,328	#DIV/0!
レギュラーガソリン	957	760	693	948	971
軽油	1,200	1,200	1,200	1,200	#DIV/0!

（単位：L/年）

○主な給油場所

【単回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1. 西米良村村所のJASS	19	11	3	1	17
	2. 西米良村村所の柴下商店	1	1	1	0	1
	3. 西都市穂北の中武商事（TOSEKI）	42	19	9	37	5
	4. それ以外の西都市内のガソリンスタンド	20	5	1	13	6
	5. その他	8	5	2	7	1
	回答者総数	90	41	16	58	30

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
21.1%	26.8%	18.8%	1.7%	56.7%
1.1%	2.4%	6.3%	0.0%	3.3%
46.7%	46.3%	56.3%	63.8%	16.7%
22.2%	12.2%	6.3%	22.4%	20.0%
8.9%	12.2%	12.5%	12.1%	3.3%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○東米良地区内にSSが再開された場合の給油意思（1台目）

- 東米良地区内にSSが再開された場合の給油意思（1台目・レギュラーガソリン車）について、「ほぼそこで給油と思う」は、東米良地区住民は61.1%、西米良地区住民は44.8%がとしている。
- 「2回に1回」を合わせると、8割以上が、再開された場合、そこでの給油意思を有している。

○地区内にSSが再開された場合の給油意思（レギュラーガソリン）

【単回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1. ほぼそこで給油と思う	46	22	8	33	13
	2. 2回に1回くらいはそこで給油と思う	23	10	2	11	11
	3. ほとんど利用しないと思う	13	6	4	9	4
	4. その他	3	1	0	1	1
	回答者総数	85	39	14	54	29

※その他の回答

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
54.1%	56.4%	57.1%	61.1%	44.8%
27.1%	25.6%	14.3%	20.4%	37.9%
15.3%	15.4%	28.6%	16.7%	13.8%
3.5%	2.6%	0.0%	1.9%	3.4%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○給油意思別年間平均給油量（レギュラーガソリン）

	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
1. ほぼそこで給油と思う	956	761	720	1,074	660
2. 2回に1回くらいはそこで給油と思う	1,001	837	#DIV/0!	911	1,158

（単位：L/年）

○地区内にSSが再開された場合の給油意思（軽油）

【単回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1. ほぼそこで給油と思う	0	0	0	0	0
	2. 2回に1回くらいはそこで給油と思う	1	1	1	1	0
	3. ほとんど利用しないと思う	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0
	回答者総数	1	1	1	1	0

※その他の回答

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!

○給油意思別年間平均給油量（軽油）

	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
1. ほぼそこで給油と思う	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
2. 2回に1回くらいはそこで給油と思う	1,200	1,200	1,200	1,200	#DIV/0!

（単位：L/年）

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○東米良地区内にSSが再開された場合のガソリン価格の許容価格差、将来の自動車の利用（1台目）

- 東米良地区にSSが再開された場合の、ガソリン価格の許容価格差は、平均8.5円/Lで、3円以下の場合9割以上が許容範囲内となる。
- 概ね5年～10年後を想定した場合の車の利用は、「現在と同様に利用している」が過半数であるが、「利用しなくなっている」「電気自動車に買い替えている」が合わせて2割程度見られている。

○地区内SSで給油する場合の許容価格差

【数値】	区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1円～2円	6	1	1	4	2
	3円	9	3	0	3	6
	4円	1	1	0	0	1
	5円	20	7	1	18	1
	6円～9円	1	1	1	0	1
	10円～19円	21	13	7	14	7
	21円以上	9	3	0	5	4
	回答者総数	67	29	10	44	22

（単位：円/L）

	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
平均許容価格差	8.5	8.9	8.4	8.2	9.2

区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
3円以下許容	61	28	9	40	20
5円以下許容	51	24	9	37	13
10円以下許容	30	16	7	19	11

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
9.0%	3.4%	10.0%	9.1%	9.1%
13.4%	10.3%	0.0%	6.8%	27.3%
1.5%	3.4%	0.0%	0.0%	4.5%
29.9%	24.1%	10.0%	40.9%	4.5%
1.5%	3.4%	10.0%	0.0%	4.5%
31.3%	44.8%	70.0%	31.8%	31.8%
13.4%	10.3%	0.0%	11.4%	18.2%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
91.0%	96.6%	90.0%	90.9%	90.9%
76.1%	82.8%	90.0%	84.1%	59.1%
44.8%	55.2%	70.0%	43.2%	50.0%

○概ね5年～10年後を想定した場合の車の利用

【単回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1. 現在と同様に利用している	46	23	4	30	14
	2. 買い替えている（ガソリン車ORディーゼル車）	23	5	2	14	9
	3. 電気自動車に買い替えている	3	1	0	3	0
	4. 利用しなくなっている（廃車、売却等）	17	12	9	11	6
	5. その他	1	0	0	0	1
	回答者総数	90	41	15	58	30

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
51.1%	56.1%	26.7%	51.7%	46.7%
25.6%	12.2%	13.3%	24.1%	30.0%
3.3%	2.4%	0.0%	5.2%	0.0%
18.9%	29.3%	60.0%	19.0%	20.0%
1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○自動車用燃料の利用状況（2台目）

- 2台目の自動車については、レギュラーガソリン車の使用率が50%となっている。

【自動車（2台目）】

○主たる利用者の年齢

【数値】	区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	25歳未満	0	0	0	0	0
	25歳～44歳	5	0	0	2	3
	45歳～64歳	18	1	0	11	7
	65歳～74歳	18	12	0	11	6
	75歳～84歳	12	11	8	8	4
	85歳以上	5	2	2	2	3
	回答者総数	58	26	10	34	23

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8.6%	0.0%	0.0%	5.9%	13.0%
31.0%	3.8%	0.0%	32.4%	30.4%
31.0%	46.2%	0.0%	32.4%	26.1%
20.7%	42.3%	80.0%	23.5%	17.4%
8.6%	7.7%	20.0%	5.9%	13.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○燃料

【単回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1. ハイオクガソリン	1	1	0	0	0
	2. レギュラーガソリン	56	25	10	33	23
	3. 軽油（ディーゼル）	0	0	0	0	0
	回答者総数	57	26	10	33	23

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
1.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
98.2%	96.2%	100.0%	100.0%	100.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（2台目）総世帯数に占めるレギュラーガソリン車使用率	50%	42%	30%	43%	64%
----------------------------	-----	-----	-----	-----	-----

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○自動車用燃料の給油状況（2台目）

- 2台目の自動車の年間平均給油量は728Lとなっている。
- 主な給油所は、1台目と同様、東米良地区住民は穂北の中武商事、西米良地区住民はJASSが最も多い。

○1回あたり給油量

【数値】	区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	20L未満	10	7	1	6	3
	20L以上～30L未満	27	13	6	16	11
	30L以上～40L未満	8	1	0	4	4
	40L以上	3	1	0	1	2
	回答者総数	48	22	7	27	20

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
20.8%	31.8%	14.3%	22.2%	15.0%
56.3%	59.1%	85.7%	59.3%	55.0%
16.7%	4.5%	0.0%	14.8%	20.0%
6.3%	4.5%	0.0%	3.7%	10.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○ひと月あたり給油回数

【数値】	区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1回未満	4	1	0	3	1
	1回	13	8	3	10	2
	2回	19	10	2	9	10
	3回	4	1	1	2	2
	4回	4	1	0	2	2
	5回以上	8	2	1	3	5
	回答者総数	52	23	7	29	22

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
7.7%	4.3%	0.0%	10.3%	4.5%
25.0%	34.8%	42.9%	34.5%	9.1%
36.5%	43.5%	28.6%	31.0%	45.5%
7.7%	4.3%	14.3%	6.9%	9.1%
7.7%	4.3%	0.0%	6.9%	9.1%
15.4%	8.7%	14.3%	10.3%	22.7%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○年間平均給油量

	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
平均給油量	728	474	530	664	839
ハイオクガソリン	120	120	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
レギュラーガソリン	742	491	530	664	839
軽油	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

（単位：L/年）

○主な給油場所

【単回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1. 西米良村村所のJASS	15	7	2	0	14
	2. 西米良村村所の柴下商店	0	0	0	0	0
	3. 西都市穂北の中武商事（TOSEKI）	27	14	7	24	3
	4. それ以外の西都市内のガソリンスタンド	10	3	0	6	4
	5. その他	3	2	1	2	1
	回答者総数	55	26	10	32	22

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
27.3%	26.9%	20.0%	0.0%	63.6%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
49.1%	53.8%	70.0%	75.0%	13.6%
18.2%	11.5%	0.0%	18.8%	18.2%
5.5%	7.7%	10.0%	6.3%	4.5%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○東米良地区内にSSが再開された場合の給油意思（1台目）

- 東米良地区内にSSが再開された場合の給油意思（2台目・レギュラーガソリン車）は、東米良地区住民は「ほぼそこで給油すると思う」が71.9%で最も多いが、西米良地区住民は「2回に1回」が52.2%で最も多い。

○地区内にSSが再開された場合の給油意思

【単回答】

選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
1. ほぼそこで給油すると思う	31	15	6	23	8
2. 2回に1回くらいはそこで給油すると思う	17	8	2	4	12
3. ほとんど利用しないと思う	7	2	1	4	3
4. その他	1	0	0	1	0
回答者総数	56	25	9	32	23

※その他の回答

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
55.4%	60.0%	66.7%	71.9%	34.8%
30.4%	32.0%	22.2%	12.5%	52.2%
12.5%	8.0%	11.1%	12.5%	13.0%
1.8%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○給油意思別年間平均給油量（レギュラーガソリン）

	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村 (越野尾・小川)
1. ほぼそこで給油すると思う	742	495	580	783	618
2. 2回に1回くらいはそこで給油すると思う	771	500	240	360	845

(単位：L/年)

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○東米良地区内にSSが再開された場合のガソリン価格の許容価格差、将来の自動車の利用（2台目）

- 東米良地区にSSが再開された場合の、ガソリン価格の許容価格差は、平均8.2円/Lで、3円以下の場合8割が許容範囲内となる。
- 概ね5年～10年後を想定した場合の車の利用は、「現在と同様に利用している」が44.6%で、「利用しなくなっている」「電気自動車に買い替えている」が合わせて3割程度見られている

○地区内SSで給油する場合の許容価格差

【数値】	区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1円～2円	8	1	1	3	5
	3円	5	2	0	3	2
	4円	0	0	0	0	0
	5円	10	4	2	8	2
	6円～9円	0	0	0	0	0
	10円～19円	12	8	2	5	7
	21円以上	5	1	0	1	4
	回答者総数	40	16	5	20	20

（単位：円/L）

	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
平均許容価格差	8.2	8.0	6.4	6.3	10.1

区分	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
3円以下許容	32	15	4	17	15
5円以下許容	27	13	4	14	13
10円以下許容	17	9	2	6	11

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
20.0%	6.3%	20.0%	15.0%	25.0%
12.5%	12.5%	0.0%	15.0%	10.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25.0%	25.0%	40.0%	40.0%	10.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30.0%	50.0%	40.0%	25.0%	35.0%
12.5%	6.3%	0.0%	5.0%	20.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
80.0%	93.8%	80.0%	85.0%	75.0%
67.5%	81.3%	80.0%	70.0%	65.0%
42.5%	56.3%	40.0%	30.0%	55.0%

○概ね5年～10年後を想定した場合の車の利用

【単回答】	選択肢	全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
	1. 現在と同様に利用している	25	16	4	18	6
	2. 買い替えている（ガソリン車ORディーゼル車）	12	1	1	3	9
	3. 電気自動車に買い替えている	3	0	0	3	0
	4. 利用しなくなっている（廃車、売却等）	15	8	4	8	7
	5. その他	1	0	0	0	1
	回答者総数	56	25	9	32	23

全体	うち高齢者のみ	うち75歳以上のみ	東米良地区	西米良村（越野尾・小川）
44.6%	64.0%	44.4%	56.3%	26.1%
21.4%	4.0%	11.1%	9.4%	39.1%
5.4%	0.0%	0.0%	9.4%	0.0%
26.8%	32.0%	44.4%	25.0%	30.4%
1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3-1. 地域住民の燃料使用状況とニーズ等（住民アンケート調査）

○自由意見等

<主な自由意見>

○燃料供給の不安、地区内SSの要望

- ・ 近くにないといざという時不安
- ・ 以前、国道崖崩れの為山道を通る必要があり、ガソリンを親戚から貰ったことがあります。近くにスタンドが無いのはとても不安に思います。
- ・ ガソリンスタンドの早期再開を切に熱望します
- ・ 尾八重部落は、1時間かけてガソリンスタンドに行ってます。道路もよくなってガソリン・灯油を買いに行ってます。
- ・ 燃料が少なくなったらわざわざ穂北まで行かなくてはならないので困っています。
- ・ スタンドが建立されればいいと思う
- ・ 90歳を過ぎた為本人の車はありません。娘が週1で帰ってきますがスタンドがあれば利用します。
- ・ 道中（219号や39号）を灯油を乗せて運転するのは怖い。配達を経費を補助する制度がありがたい。
- ・ 生活に必須のものである。多少市街地のスタンドより高値であっても今より高齢になれば遠方まで買い出しに行くことはできなくなる。近くにあることが日常生活を維持するために不可欠。
- ・ 新設設置を期待しています。
- ・ 東米良地区にスタンドが出来れば安心できる。ガス欠を心配する事も無くなると思う。
- ・ 今はまだ若いので車から縁が切れることはないですが、年を取ったら免許返さないといけな。自分は車・バイクが好きなので、出来れば一生乗り続けたいと思っています。
- ・ 早くスタンドを作ってください。生活の中で一番不安です。
- ・ 山間部という所でスタンドが今は全く無くて途中でガソリンがなくなったらいつも不安で走っています
- ・ 村内にガソリンスタンドがある事を強く希望します
- ・ 村内にSSがある事を強くお願いしたい！
- ・ 中山間地域での自動車は不可欠なので、GSは当然必要である。風呂・ストーブ等の燃料確保は生活必需品。
- ・ 一の瀬にスタンドが出来れば大変助かります
- ・ 市内へ購入しに行く無駄が大きすぎるデメリット!!
- ・ 農機具等の燃料が必要な時近くにスタンドがあると便利です。
- ・ 以前一の瀬にありましたので便利でしたが、無くなり不便になっているので一の瀬に出来たら助かります。
- ・ ガソリンスタンドは再開してほしい。
- ・ 近場に出来てほしい
- ・ 出来るなら早めに再開して欲しい。
- ・ 燃料が田舎では絶対必要なので何かしらの対策に期待します。

○地区内SS再開の条件・方策等

- ・ ガソリンスタンドを再開するための人件費コストについては、営業日を週3日など工夫することで価格を抑えられたらありがたいです。
- ・ 時間帯が問題かと。朝早くから又は夕方20時位とかは可能か？
- ・ 高齢の為現在は2台目の自動車を売却し、ガソリンの使用無し
- ・ 休日に空いていると助かります。
- ・ セルフにした方がいいと思う。
- ・ 安くなるといいな

○その他

- ・ ガソリンの質を落としているスタンドがある
- ・ 四季を通して自然の変化と共に不安ばかりの昨今ですが、今回のご検討に感謝申し上げます。ありがとうございます！！
- ・ ガソリンの価格が高くなる
- ・ 私は車とバイクで通勤するんですけど、ガソリンは高いのでバイクで上揚から通勤しようと思います。寒いんですけど。

3-2. 地域事業者の燃料使用状況とニーズ等（事業者アンケート調査）

○事業者アンケート調査の実施概要

＜対 象＞ 西都市東米良地区に拠点を置く事業所 計10事業所

＜実施期間＞ 令和5年11月16日～11月30日

＜実施方法＞ NPO東米良創生会を通じて配布・回収

＜調査項目＞

- ✓ 事業所概要（事業内容、従業者数等）
- ✓ 灯油、ガソリン、軽油の利用・購入状況（利用の有無、購入方法、購入場所、購入頻度、購入量）
- ✓ 東米良地区にSSが再開された場合の灯油購入可能性
- ✓ 災害時を想定した燃料備蓄の状況（備蓄の有無、備蓄量、備蓄の方法・目的・根拠、燃料備蓄への考え）
- ✓ 自由意見

＜回収状況＞ 10事業所から回答

企業・団体名、事業所名	具体的な事業内容	所在地	従業者数（人）		備蓄の有無（主な用途）		
				うち東米良地区居住者	灯油	ガソリン	軽油
西都銀上学園	小中一貫校	宮崎県西都市大字銀鏡466番地	18	14	-	-	-
東米良仁の里	デイサービス	宮崎県西都市大字上揚2番地2	7	1	-	○ (車両、発電機)	-
西都農業協同組合 東米良支所	購買・販売業務	宮崎県西都市大字銀鏡685番地	4	3	-	-	-
児湯広域森林組合ゆず事業所	ゆずの生産・加工・販売	宮崎県西都市大字尾八重518番地1	1	0	-	-	-
石川林業	伐採・搬出・造林	宮崎県西都市大字銀鏡	7	4	○ (暖房用他)	○(車両、発電機、 フェンソー等)	○ (車両、重機等)
銀鏡郵便局	郵政事業	宮崎県西都市大字銀鏡687-1	3	0	-	-	-
株式会社かぐらの里	ゆずの生産・加工・販売	宮崎県西都市大字銀鏡490	40	29	-	-	-
東米良診療所	医療	宮崎県西都市大字中尾字小崎171-9	12	0	-	○(発電機)	-
米良産魚株式会社	鯉養殖	宮崎県西都市大字中尾150-19	4	0	-	-	-
特定非営利活動法人東米良創生会	村おこし	宮崎県西都市大字上揚2番地2	11	5	-	-	-

3-2. 地域事業者の燃料使用状況とニーズ等（事業者アンケート調査）

【灯油】

○灯油使用機器の有無

【単回答】	区分	全体	全体
	あり	6	60.0%
	なし	4	40.0%
	回答者総数	10	100.0%

【複数回答】	選択肢	全体	全体
	1. 暖房機器（ストーブ、ヒーター等）	5	83.3%
	2. ボイラー・給湯器（風呂、台所等）	3	50.0%
	3. 3.事業用機械・機器	1	16.7%
	4. その他	0	0.0%
	回答者総数	6	100.0%

○灯油購入方法

【単回答】	選択肢	全体	全体
	1. 店舗購入	2	33.3%
	2. 配達	4	66.7%
	3. その他	0	0.0%
	回答者総数	6	100.0%

○灯油購入量（年間）

【数値】	区分	全体	全体
	500L未満	4	66.7%
	500L以上～1000L未満	0	0.0%
	1000L以上～3000L未満	2	33.3%
	3000L以上～5000L未満	0	0.0%
	5000L以上	0	0.0%
	回答者総数	6	100.0%

	全体
事業者合計灯油購入量	4,850 L

○主な灯油購入場所

【単回答】	選択肢	全体	全体
	1. 西米良村村所のJASS		0.0%
	2. 西米良村村所の柴下商店		0.0%
	3. 西都市穂北の中武商事（TOSEKI）	6	100.0%
	4. それ以外の西都市内のガソリンスタンド		0.0%
	5. 西都市内のホームセンター（ナフコ、コメリ、ダイレックス）		0.0%
	6. その他		0.0%
	回答者総数	6	100.0%

3-2. 地域事業者の燃料使用状況とニーズ等（事業者アンケート調査）

○そこから購入する理由

【複数回答】	選択肢	全体	全体
	1.価格が安いから	0	0.0%
	2.ポイントや割引などのサービスがあるから	0	0.0%
	3.事業所、現場や取引先に近いから	3	50.0%
	4.ほかの用務のついでに購入できるから	0	0.0%
	5.営業時間が長いから	0	0.0%
	6.以前から付き合い・取引があるから	2	33.3%
	7.売掛など融通がきくから	2	33.3%
	8.配達が柔軟・迅速だから	2	33.3%
	9.その他	1	16.7%
	回答者総数	6	100.0%

○地区内にSSが再開された場合の灯油購入意思

【単回答】	選択肢	全体	全体
	1. 購入と思う	5	83.3%
	2. 配達をしてくれるならそこで購入と思う	0	0.0%
	3. そこでは購入しないと思う	0	0.0%
	4. その他	1	16.7%
	回答者総数	6	100.0%

※再開SSの購入意思別灯油購入量（合計）

	全体
1. 購入と思う	2,070 L

○地区内SSで灯油を購入する場合の許容価格差

【数値】	区分	全体	全体
	1円～2円	0	0.0%
	3円	2	40.0%
	4円	0	0.0%
	5円	1	20.0%
	6円～9円	0	0.0%
	10円～19円	2	40.0%
	21円以上	0	0.0%
	回答者総数	5	100.0%

	区分	全体	全体
	3円以下許容	5	100.0%
	5円以下許容	3	60.0%
	10円以下許容	2	40.0%

3-2. 地域事業者の燃料使用状況とニーズ等（事業者アンケート調査）

○ガソリン自動車台数

【数値】

区分	全体	全体
0台	1	11.1%
1台	1	11.1%
2台	3	33.3%
3台	1	11.1%
4台	1	11.1%
5台	2	22.2%
6台以上	0	0.0%
回答者総数	9	100.0%

○年間ガソリン給油量

	全体
年間合計給油量	32,623 L

○主な給油場所

【単回答】

選択肢	全体	全体
1. 西米良村村所の J A S S	0	0.0%
2. 西米良村村所の柴下商店	0	0.0%
3. 西都市穂北の中武商事（T O S E K I）	9	81.8%
4. それ以外の西都市内のガソリンスタンド	0	0.0%
5. その他	2	18.2%
回答者総数	11	100.0%

※その他店舗の回答

○そこで給油する理由

【複数回答】

選択肢	全体	全体
1. 価格が安いから	0	0.0%
2. ポイントや割引などのサービスがあるから	0	0.0%
3. 事業所、現場や取引先に近いから	4	50.0%
4. ほかの用務のついでに購入できるから	0	0.0%
5. 営業時間が長いから	0	0.0%
6. 以前から付き合い・取引があるから	4	50.0%
7. 売掛など融通がきくから	4	50.0%
8. 好きなブランドだから	0	0.0%
9. その他	3	37.5%
回答者総数	8	100.0%

3-2. 地域事業者の燃料使用状況とニーズ等（事業者アンケート調査）

○地区内にSSが再開された場合の給油意思

【単回答】

選択肢	全体	全体
1. ほぼそこで給油と思う	5	62.5%
2. 2回に1回くらいはそこで給油と思う	1	12.5%
3. ほとんど利用しないと思う	0	0.0%
4. その他	2	25.0%
回答者総数	8	100.0%

※再開SSの購入意思者給油量（合計）

全体
「ほぼそこで給油」回答者給油量×100% + 「2回に1回」回答者給油量×50%
30,523 L

○地区内SSで給油する場合の許容価格差

【数値】

区分	全体	全体
1円～2円	0	0.0%
3円	2	33.3%
4円	0	0.0%
5円	2	33.3%
6円～9円	0	0.0%
10円～19円	2	33.3%
21円以上	0	0.0%
回答者総数	6	100.0%

区分	全体	全体
3円以下許容	6	100.0%
5円以下許容	4	66.7%
10円以下許容	2	33.3%

3-2. 地域事業者の燃料使用状況とニーズ等（事業者アンケート調査）

○ディーゼル自動車台数

【数値】

区分	全体	全体
0台	6	60.0%
1台	2	20.0%
2台	0	0.0%
3台	2	20.0%
4台	0	0.0%
5台	0	0.0%
6台以上	0	0.0%
回答者総数	10	100.0%

○ディーゼル建機等台数

【数値】

区分	全体	全体
0台	7	70.0%
1台	2	20.0%
2台	0	0.0%
3台	0	0.0%
4台	0	0.0%
5台	1	10.0%
6台以上	0	0.0%
回答者総数	10	100.0%

○年間軽油給油量

全体
年間合計給油量 24,920 L

○主な給油場所

【単回答】

選択肢	全体	全体
1. 西米良村村所のJASS	0	0.0%
2. 西米良村村所の柴下商店	0	0.0%
3. 西都市穂北の中武商事（TOSEKI）	4	100.0%
4. それ以外の西都市内のガソリンスタンド	0	0.0%
5. その他	0	0.0%
回答者総数	4	100.0%

○そこで給油する理由

【複数回答】

選択肢	全体	全体
1. 価格が安いから	0	0.0%
2. ポイントや割引などのサービスがあるから	0	0.0%
3. 事業所、現場や取引先に近いから	2	50.0%
4. ほかの用務のついでに購入できるから	0	0.0%
5. 営業時間が長いから	0	0.0%
6. 以前から付き合い・取引があるから	4	100.0%
7. 売掛など融通がきくから	2	50.0%
8. 好きなブランドだから	0	0.0%
9. その他	1	25.0%
回答者総数	4	100.0%

3-2. 地域事業者の燃料使用状況とニーズ等（事業者アンケート調査）

○自由意見等

<主な自由意見>

- ガソリンスタンドがなくなり大変不便な思いをしています。ぜひ再開してほしい。
- 代金の決済はどうなるのか？スタンドの事業を既存SS事業者に委託はできないものか。補助金に関係で無理とは思いますが方法はないか。
- ガソリンスタンドだけでなく、ツーリングの車・バイクが集える場所、コーヒーや軽食がとれる場所を作してほしい。
- 車両の給油が出来なくて困っています。再開を願います。住民の足となって移動支援を行っています。

【参考】令和4年度東米良地区住民アンケートにおけるガソリンスタンドのニーズ

- 農村RMO形成事業の事業主体である東米良地区1000年協議会では、令和4年度に生活支援事業の検討一環として、ガソリンスタンドに関するアンケート調査を実施し、対象者の9割以上がガソリンスタンドが必要と回答している。

東米良地区1000年協議会 農村RMO形成推進事業 生活支援アンケート

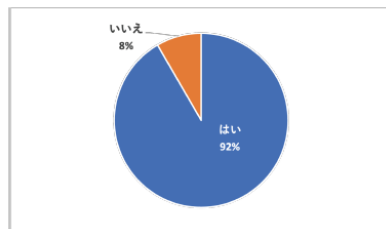
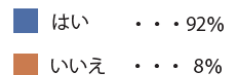
ガソリンスタンドに関するアンケート調査結果

【対象者】

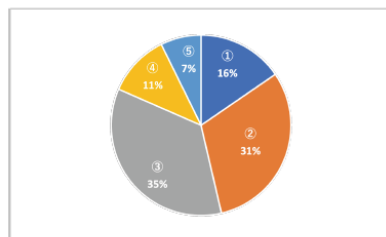
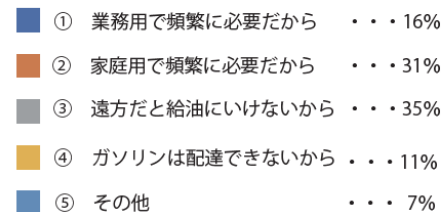
東米良地区在住成年者、地区関係者（親族等）、東米良地区内団体および企業関係者 合計 192名

東米良地区唯一のガソリンスタンドがなくなりました。

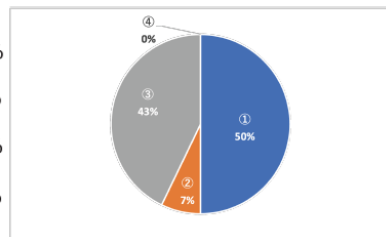
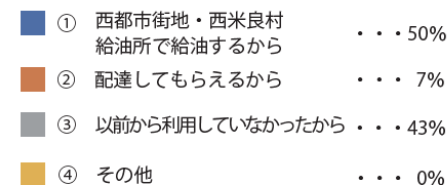
1) 東米良地区にガソリンスタンドは必要である



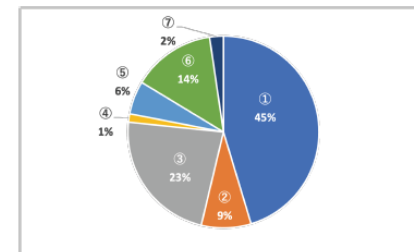
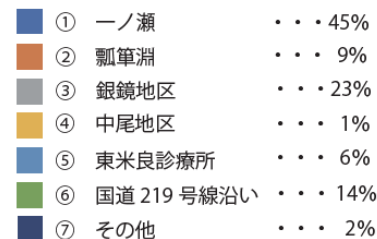
2) 『はい』と回答した理由



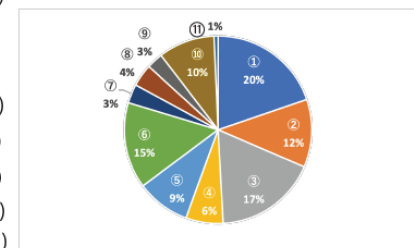
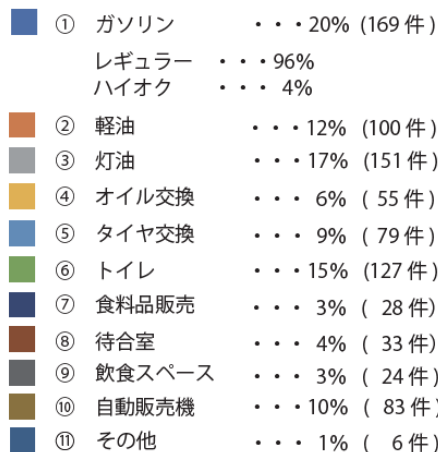
3) 『いいえ』と回答した理由



4) もし、ガソリンスタンドを東米良地区に設置するならどこが良いですか



5) ガソリンスタンドに求める機能をお答えください。（複数回答可）



6) その他 ガソリンスタンドに関するご意見ご要望

- ・コンビニ ・混合油 ・ジビエ工場と併設 ・複合施設にすることでガソリン単価を下げる
- ・平日のみの営業でも助かるのではないのでしょうか。 ・軽食ができると良い ・配達
- ・今、バイクカフェが流行しています。219号はライダーの聖地です。
- ・電気自動車充電スタンド ・商品をできるだけまとめて一箇所で間に合う方が売るも買うも便利
- ・高齢者もいるので、半セルフ式にしては、コストがかかるのは分かるができれば作って欲しい
- ・今後高齢ドライバーが増えると思われるので安全面からも近場にあることが必要である。
- ・単価が安い方がいい ・利用に見合うメリット ・週3日ぐらいの営業でいいので開けてほしい

4. 地域の燃料安定供給機能の確保方策（SS過疎地対策計画）

4-1. 燃料安定供給に向けた課題と対応方針

●地域の燃料供給に関する現状・課題、ニーズ

- ・西都市東米良地区のほぼ全域及び西米良村の一部地域において、最寄りSSまで15km以上の燃料供給不安地域となっている
- ・周辺道路は、異常気象等による通行規制が生じる可能性があり、災害時に対応した燃料備蓄を考慮する必要がある
- ・当該地域では、農林業が主要産業となっており、住民生活や地域産業を支えるために、地区内で一定の燃料需要がある
- ・R4年度に東米良地区住民を対象に実施したアンケートにおいて、回答者の9割以上が、ガソリンスタンドが必要と回答している
- ・また、R5年度に東米良地区および西米良村の一部地域住民を対象に実施したアンケートにおいて、もし東米良地区内にSSが再開された場合の利用意向について尋ねたところ、灯油では回答者7割、ガソリンは8割程度が、再開SSの利用意思を示している

●東米良地区における燃料供給機能確保の基本方針

- ・ **地域の燃料供給不安の解消及び地域の産業振興、災害時の対応の観点から、東米良地区内に燃料供給拠点（SS）を整備・確保する。**

一方、燃料供給の対象となるのは東米良地区および西米良村の一部地域住民（約200世帯程度）であり、燃料需要は限定的であることから、以下の点を前提として、拠点の整備・運営を行う。

<拠点整備・運営の方針>

- ✓地域住民や事業者の燃料供給不安の解消、利便性向上、地域振興活動に資する燃料供給拠点であるとともに、災害時の燃料供給拠点として整備及び機能維持を図る
- ✓「地域のSS」として、持続可能な機能維持が図れるよう、地域づくり活動と一体的な、地域が主体的に支える運営体制とする

4-2. 東米良地区における燃料供給拠点の整備計画

東米良地区内への新たな燃料供給拠点（以下、「仮称）東米良SS」という。）の整備・運営にあたっては、地域の燃料需要や、設置した場合の利用意向等を踏まえた販売量推計を行い、それに基づき施設の規模や場所等のスペックを設定する。

○東米良SSの販売量推計

仮称）東米良SSの販売量は、今年度実施したアンケート結果をもとに推計した。

なお、推計にあたっては、施設規模や運営体制が過大にならぬよう、以下の通り保守的に試算した。

- ✓ 想定販売量は、アンケート回答者（家庭、事業所）の燃料需要量、東米良SS利用意向から推計する（アンケートに回答しなかった世帯や事業所は、燃料の購入・給油（ガソリンスタンドの利用）に関心が低い＝利用可能性が低い世帯と捉え、販売量推計に含めない）
- ✓ 東米良SSの利用者としては、地域の住民、事業所のほか、他地域から東米良地区内で業務を行う事業者（従業者）や観光客、国道通過交通等が想定されるが、これらは浮動的な要素も多く含まれるため、保守的な販売量推計には含めない（ただし、持続的な運営に向けた利用促進の対象としては十分に考慮する）
- ✓ アンケートでは、東米良SSの販売価格の許容価格差（現在利用しているSSと比べて1L何円くらい高いなら許容できるか）を把握しており、これによる販売量も推計する
- ✓ 将来販売量のうち、家庭の需要量は、将来推計人口に比例させるほか、自動車用燃料については、高齢化やエネルギー転換等に伴う自動車非利用意向も考慮する。

<東米良SS想定販売量（単位：L/年）>

		2020年	2023年	2025年	2030年	2035年	2040年	備考
想定販売量 (合計)	灯油		16,218	15,341	13,196	11,365	9,888	家庭用＋事業用
	ガソリン		103,369	91,257	68,818	58,208	50,668	家庭用＋事業用
	軽油		25,050	24,993	24,914	24,827	24,765	家庭用＋事業用
	合計		144,637	131,591	106,929	94,400	85,321	

年間販売量は、現状で140KL程度、将来的には100KLを下回る可能性

※灯油について「配達してくれるなら購入」とする回答者の需要は含めていない

【参考】東米良SSの販売量推計①（地域住民等の購入量推計）

【住民の燃料購入量】

灯油

	東米良	西米良	全体	単位	備考
A 回答世帯のうち灯油使用世帯数	67	31	98	世帯	灯油使用機器「あり」
B Aのうち、東米良SS利用意向世帯数	45	20	65	世帯	東米良SSで「購入すると思う」
C 灯油購入量合計	9,352	4,796	14,148	L/年	
C3 灯油購入量合計（価格許容差3円以内）	8,072	4,420	12,492	L/年	周辺SSより3円高くても購入すると回答した世帯の購入量
C5 灯油購入量合計（価格許容差5円以内）	6,672	2,820	9,492	L/年	周辺SSより5円高くても購入すると回答した世帯の購入量

<1台目>

	東米良	西米良	計	単位	備考
A 回答世帯のうちRG車使用世帯数	55	29	84	世帯	1台目「レギュラーガソリン車」
B1 Aのうち、東米良SS積極利用意向世帯数	33	13	46	世帯	東米良SSで「ほぼそこで給油すると思う」
B2 Aのうち、東米良SS消極利用意向世帯数	11	11	22	世帯	東米良SSで「2回に1回くらいはそこで給油すると思う」
C Bの給油量合計（＝想定RG販売量）	36,318	13,710	50,028	L/年	B1の給油量 + B2の給油量×0.5
C3 Bの給油量合計（許容価格差3円以内）	31,278	8,730	40,008	L/年	周辺SSより3円高くても給油すると回答した世帯の購入量
C5 Bの給油量合計（許容価格差5円以内）	29,598	5,670	35,268	L/年	周辺SSより5円高くても給油すると回答した世帯の購入量

<2台目>

	東米良	西米良	計	単位	備考
A 回答世帯のうちRG車使用世帯数	32	23	55	世帯	2台目「レギュラーガソリン車」
B1 Aのうち、東米良SS積極利用意向世帯数	22	8	30	世帯	東米良SSで「ほぼそこで給油すると思う」
B2 Aのうち、東米良SS消極利用意向世帯数	4	12	16	世帯	東米良SSで「2回に1回くらいはそこで給油すると思う」
C Bの給油量合計（＝想定RG販売量）	14,460	8,358	22,818	L/年	B1の給油量 + B2の給油量×0.5
C3 Bの給油量合計（許容価格差3円以内）	9,720	6,198	15,918	L/年	周辺SSより3円高くても給油すると回答した世帯の購入量
C5 Bの給油量合計（許容価格差5円以内）	7,200	5,298	12,498	L/年	周辺SSより5円高くても給油すると回答した世帯の購入量

<1台目、2台目計>

	東米良	西米良	全体	単位	備考
C RG給油量合計	50,778	22,068	72,846	L/年	
C3 RG給油量合計（許容価格差3円以内）	40,998	14,928	55,926	L/年	周辺SSより3円高くても給油すると回答した世帯の購入量
C5 RG給油量合計（許容価格差5円以内）	36,798	10,968	47,766	L/年	周辺SSより5円高くても給油すると回答した世帯の購入量

<将来のEV買替または非利用（廃車、売却等）意向者の給油量（将来販売量からの控除量）>

	東米良	西米良	全体	単位	備考
1台目 将来EV化or非利用意向	5,820	2,640	8,460	L/年	
2台目 将来EV化or非利用意向	7,320	2,280	9,600	L/年	
計	13,140	4,920	18,060	L/年	

※住民の軽油購入量は、回答者が少ないため計算式の数値は秘匿とした（購入量は合計600L/年）

【事業者の燃料購入量】

	単位	灯油	ガソリン	軽油	
C 事業者購入量	L/年	2,070	30,523	24,450	
C3 事業者購入量（価格許容差3円以内）	L/年	2,070	30,023	24,450	周辺SSより3円高くても購入すると回答した事業者の購入量
C5 事業者購入量（価格許容差5円以内）	L/年	470	9,681	17,950	周辺SSより5円高くても購入すると回答した事業者の購入量

【参考】東米良SS販売量推計①（将来販売量）

将来推計人口を踏まえた将来販売量推計

< 将来販売量推計の前提となる将来推計人口 >

		2020年	2023年	2025年	2030年	2035年	2040年	備考
東米良	総人口（人）	244	223	210	176	150	126	
	うち20-84歳人口（人）	173	152	137	119	98	80	自動車運転者
西米良	総人口（人）	168	154	144	120	98	82	
	うち20-84歳人口（人）	137	119	108	91	72	62	自動車運転者
人口 計	総人口（人）	412	377	354	296	248	208	
	うち20-84歳人口（人）	310	271	245	210	170	142	自動車運転者
人口増減率 (2023年 = 100)	総人口		100	94	79	66	55	
	うち20-84歳人口		100	90	77	63	52	自動車運転者

< 住民、事業者の意向と将来推計人口に基づく東米良SS想定販売量 >

		単位	2023年	2025年	2030年	2035年	2040年	備考
東米良SS販売量 (住民)	灯油	L/年	14,148	13,271	11,126	9,295	7,818	2023年販売量推計×各年人口増減率
	ガソリン	L/年	72,846	65,894	56,355	45,745	38,206	2023年販売量推計×各年20-84歳人口増減率
	軽油	L/年	600	543	464	377	315	2023年販売量推計×各年20-84歳人口増減率
東米良SS販売量 (事業者)	灯油	L/年	2,070	2,070	2,070	2,070	2,070	変わらないと想定
	ガソリン	L/年	30,523	30,523	30,523	30,523	30,523	変わらないと想定
	軽油	L/年	24,450	24,450	24,450	24,450	24,450	変わらないと想定
東米良SS販売量 (合計)	灯油	L/年	16,218	15,341	13,196	11,365	9,888	住民 + 事業者
	ガソリン	L/年	103,369	96,417	86,878	76,268	68,728	住民 + 事業者
	軽油	L/年	25,050	24,993	24,914	24,827	24,765	住民 + 事業者
	合計	L/年	144,637	136,751	124,989	112,460	103,381	

< 将来販売量から控除する販売量（将来のEV買替、自動車廃車・非利用等の非利用意向者の購入量） >

		単位	2023年	2025年	2030年	2035年	2040年	備考
将来燃料非利用	ガソリン	L/年		-5,160	-18,060	-18,060	-18,060	5～10年以内の非利用意向（2025年は2030年×2/7）

		単位	2023年	2025年	2030年	2035年	2040年	備考
東米良SS販売量 (合計)	灯油	L/年	16,218	15,341	13,196	11,365	9,888	
	ガソリン	L/年	103,369	91,257	68,818	58,208	50,668	将来販売量から非利用意向者の購入量を控除
	軽油	L/年	25,050	24,993	24,914	24,827	24,765	
	合計	L/年	144,637	131,591	106,929	94,400	85,321	

※西米良・・・西米良村小川、越野尾

※将来推計人口は、コーホート法、国勢調査の小地域人口等をもとに価値総合研究所推計による

※将来自動車非利用意向は、アンケートにおいて、将来の自動者利用について「利用しなくなっている」「電気自動車に買い替えている」と回答した世帯の燃料需要量

4-2. 東米良地区における燃料供給拠点の整備計画

○東米良SSの規模・形態

- ✓ 東米良SSの燃料販売量は、保守的な推計ではあるものの、現状での想定販売量は140KL程度であり、民間SSとして事業を維持は難しい販売量である。（一般的に、SSは年間販売量1000KL程度、家族経営の小規模な過疎地SSでも600KL程度が事業継続の最低ラインとされている。）
- ✓ そのため、**SSの維持には、徹底的なローコスト化、効率化と併せて、地域の住民や事業者による積極的な利活用が必要である。**

<施設規模（SSのタンク容量）>

- ✓ タンク容量については、油種ごとの年間販売量、（灯油・軽油については冬季のピーク需要等を考慮）、効率的な仕入単位、災害時の備蓄等を考慮し、必要十分なタンク規模を想定すると、東米良SSの規模（タンク容量）は、以下のスペックが想定される

<災害用備蓄の推計>

- ・灯油
 - : 避難所 0.5L/h ×72時間 = 36 L
 - : 家庭 0.2L/h ×54時間×130世帯 = 1404L
- ・ガソリン
 - : 緊急車両等 20L/台 ×5台程度 = 100L
- ・軽油
 - : 避難所発電機 2.7L/h ×72時間 = 194L
 - : 道路啓かい用重機 100L/台 ×5台 = 500L



<想定タンク容量>

- 灯 油 : 5KL程度
- ガソリン : 10~12KL程度
- 軽 油 : 5KL程度
- 合 計 : 20KL程度

20KL程度のタンク1基の小規模SS

<施設形態>

- ✓ 東米良SSの場合、維持管理コストや、設置場所における敷地状況等を踏まえ、**地上タンク設置型**とする。

※ただし、SSの整備にあたっては、地盤等を含めた敷地の状況や設備内容等を踏まえて改めてコストの検証を行う

※地上タンク設置型のSSを整備する場合は、危険物の規制に関する政令第23条の規定による特例適用の承認が必要であることに留意

（東米良SSの施設形態を地上タンク設置型とする理由）

- 小規模SSの場合、地上タンク設置型と地下タンク設置型との間で、設備整備費（イニシャルコスト）はそれほど変わらないが、維持管理コスト（ランニングコスト）は、一般的に、地上タンク設置型のほうがやや優位である（ただし、今後、事業化に向けて、個別の設備や維持管理の内容等を精査する中で、優位性が変わっている可能性がある。）
- 設置場所（一の瀬地区）の敷地は、現在整備中の特産品加工販売施設と合わせて地上タンク設置型SS（コンテナ）を設置した場合でも、必要な空地・構内道路等が確保可能な敷地規模及びスタッフ兼務等が可能な特産品加工販売施設の配置となっている。
- なお、小規模SSの場合、整備費としては簡易計量機SSが最も安価であるが、複数油種の設置に制限があることや、タンク容量が少なく仕入に制限があることから東米良SSの形態としては想定しない。

参考：タンク形態別の特徴

○燃料供給拠点の形態（タンク設置形態）

○・・・妥当、優位
△・・・懸念、劣位
※・・・比較・評価できない

参考：地下タンク型、地上タンク型の特徴比較

形態/	防災・災害耐性	運営	敷地利用 (設備配置)	SS設備コスト (タンク、配管、計量機等)	ランニング コスト	廃止 コスト	その他
地下タンク 設置型	○地下タンクは地上火災の影響を受けにくい等災害耐性高い △計量機、配管は、地震等の揺れによる損害可能性有り	○計量機（レーン）を複数配置でき、計量機故障時も供給が可能	○敷地内のレイアウトがしやすい（洗車スペース等の確保がしやすい）	※設備（タンク・配管・計量機・POS・電気等） 3000～3500万円程度～（20KLタンク1基埋設）	△月間15万円～20万円程度	△タンクの埋戻または撤去工事が必要（数百万円～）	※地盤の状況によっては、埋設工事の内容・規模等が大きく異なる場合がある
地上タンク 設置型 	○コンテナ内にタンク・配管・計量機が全て内蔵されているため、揺れによる損害リスクは低い（震度6程度の耐震性有り）	○計量機をシャッター格納可能なため防犯性高い	△地上にコンテナを複数設置するため、配置レイアウトの自由度が低い（洗車等のスペースが確保しにくい等油外収益が制限される可能性がある）	※設備（タンク・計量機・POS内蔵コンテナ・電気等） 3000～3500万円程度～（20ftコンテナ1基）	○月間10万円～15万円程度	※コンテナ規格であるため、移設先がある場合は、他所への運搬・移設が可能	※設置にあたり、危険物の規制に関する政令第23条の規定による特例適用の承認が必要（地元消防との協議・調整による）

※地下タンク設置型、地上タンク設置型ともに、新設にあたっては、上記SS設備コストのほか、SS設備以外（事務所、キャビン、土間、防火堀、外構等）の整備費、各種調査費、設計費、手続き費用等が必要となる。

※上記費用は、あくまでも既存の事例や現状での想定に基づく、比較用の概算値であり、東米良SSにおいて実際に導入・整備する場合の費用を示すものではない。

※今後、SS関連設備に係る技術開発状況、候補地の土地調査等に基づく地盤改良の必要性、各種工事（整地、外構、建物その他付帯工事等）の内容、附帯する機能、および設置許認可に係る各種条件等により、上記の特徴や評価は変わってくる可能性がある。

地上タンク等を設置する給油取扱所に係る検討
(過疎地域の燃料供給インフラの維持に係る各方策)

背景等

背景

- 地上にあるため設置・更新の負担が少ない
- 従来の簡易タンクより多量の燃料を貯蔵可能

課題

- 地上設置に伴う車両衝突やいたずら等のリスク
- 火災・流出事故時における被害の拡大
- 自然災害の影響を受けやすい

検討の視点

- 設置する場所の条件
- 施設内の安全対策
- 維持管理・点検 等

検討方法

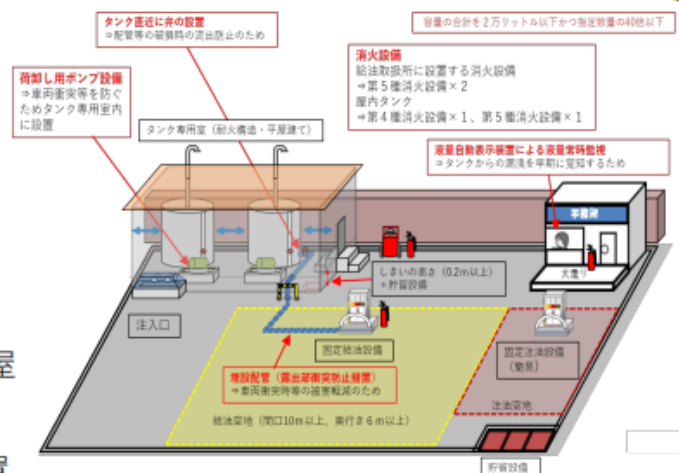
- 流出防止・対策、火災予防・延焼防止等の観点からリスク評価



地上タンクの例
※令和元年度の資源エネルギー庁
モデル事業(左図、長野県下伊那
郡売木村)は、先行事例として
参考にした

安全対策の技術的検討

- タンク地上化に伴う事故時や自然災害時のリスクについて、タンク本体や給油取扱所の構造・設備により低減するとともに、立地等（下記）で補完することを前提に認めることが適当
 - ・過疎地であり、資源エネルギー庁が進める「SS過疎地対策計画」により住民合意があること
 - ・ハザードマップで示された災害の危険箇所を避ける、又は想定される自然災害への対策がなされた場所への設置
 - ・建築基準法令で定める用途地域毎の設置基準に留意すること
- タンク本体や給油取扱所の構造・設備について、政令第12条第1項の屋内タンク貯蔵所の基準をベースに、必要な事項を追加することが適当（追加する事項の例）
 - ・放爆構造、埋設配管、流出防止対策、漏洩検知装置、自動車衝突防止装置
 - ・容量はSS過疎地対策計画で合意形成された最低限の量まで



＜地上タンク設置型給油取扱所のイメージ＞

今後について

- 過疎地におけるタンク地上化のニーズの
 広がり、ソフト面（危険物保安監督者として
 適格な人材の確保等）を含めた対応の
 必要性等を引き続き注視し、必要に応
 じ法令等の手当てを検討

参考：地上タンク設置型給油所（長野県売木村）の例

1. 施設の概要

【運営団体名】うるぎむらガソリンスタンドを残す会

【給油取扱所名】うるぎ600道の駅前PS（ポータブルステーション）

【タンクの概要】20フィートコンテナ（ハイオクガソリン、レギュラーガソリン、軽油（3油種））と10フィートコンテナ（灯油（1油種））を設置。

2. 地上タンクの寸法

20フィートコンテナの寸法（自動車燃料用）

コンテナ幅	6,058mm
コンテナ奥行き	2,438mm
コンテナ高さ	2,896mm

10フィートコンテナの寸法（灯油用）

コンテナ幅	2,991mm
コンテナ奥行き	2,438mm
コンテナ高さ	2,896mm

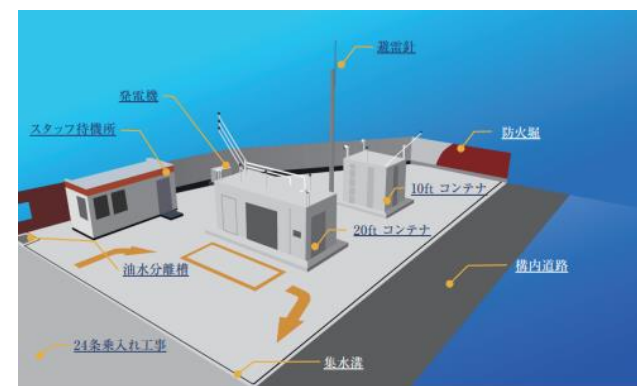
3. 地上タンクの容量

油種	レギュラーガソリン	ハイオクガソリン	軽油	灯油
容量（L）	9,000	3,500	5,300	8,100



出典：総務省消防庁「過疎地域等における燃料供給インフラの維持に向けた安全対策のあり方に関する検討会」令和2年度第1回資料

売木村の地上タンク型給油所の配置図



出典：コモタ株式会社資料

【参考】簡易計量機（ポータブル計量機）

【簡易計量機の特徴】

- ・ 簡易計量機（ポータブル計量機）は、移動・運搬が可能なタンク一体型の計量機であり、配管工事不要で設置することができる。
- ・ 必要な保安距離等が確保された休廃止SSなどにおいて簡易に設置できる。
- ・ 100万円台で設置することができ、安価に設置することができる。

【検討に当たっての留意点】

- ・ 容量は最大約600L（18Lポリタンク約30個分）であるため、在庫補充頻度が多くなることによるコストの考慮
- ・ 残量100L未満にならないと荷下ろしができないため、ローリーの荷下ろしの最小単位を考慮した在庫管理が必要（特にガソリンの場合、油槽所からのローリーの荷下ろし条件への対応が必要）
- ・ コスト、仕入、危険物取扱資格者確保も含めた管理運営体制の検討・構築が必要
- ・ 複数の可搬式計量機の設置には制限がある

簡易計量機の例



出典：経済産業省「平成28年度SS過疎地実態調査報告書」

簡易計量機の設置例



出典：経済産業省資源エネルギー庁編「SS経営に関する優秀事例 100選」（平成28年5月）

4-2. 東米良地区における燃料供給拠点の整備計画

○東米良SSの設置場所

東米良SSの設置場所は、R4年度のアンケートで回答が最も多かった、一の瀬地区を第一候補し、具体的には、一の瀬交差点付近（中武商事一の瀬SS跡地）を想定する

＜一の瀬SS跡地の特徴（優位点、整備に当たっての留意点）＞

○優位点

- ✓ もともとSSがあった場所であり、給油所設置の実績がある敷地であるとともに、地域住民のニーズも高い
- ✓ 国道沿い（国道と銀鏡方面の分岐点）であることから、東米良地区住民、西米良村民が利用しやすいことに加え、通過交通の給油も見込める
- ✓ 令和5年度に特産品（ジビエ）加工販売施設を整備しており、集客やスタッフ兼務がしやすい
- ✓ 特産品加工販売施設はコンテナ型の施設で建設しており、地上タンク設置型（コンテナ型）とした場合、デザインの統一性がある
- ✓ 現状の燃料供給不安地域（最寄SS15km以上の地域）のほとんどを解消できる

○留意点

- ✓ 西都市防災マップにおいて土石流警戒区域となっており、必要な対策工事等が必要
- ✓ 敷地面積がそれほど大きくなく、レイアウト確保に工夫が必要



現地状況（令和5年10月撮影）

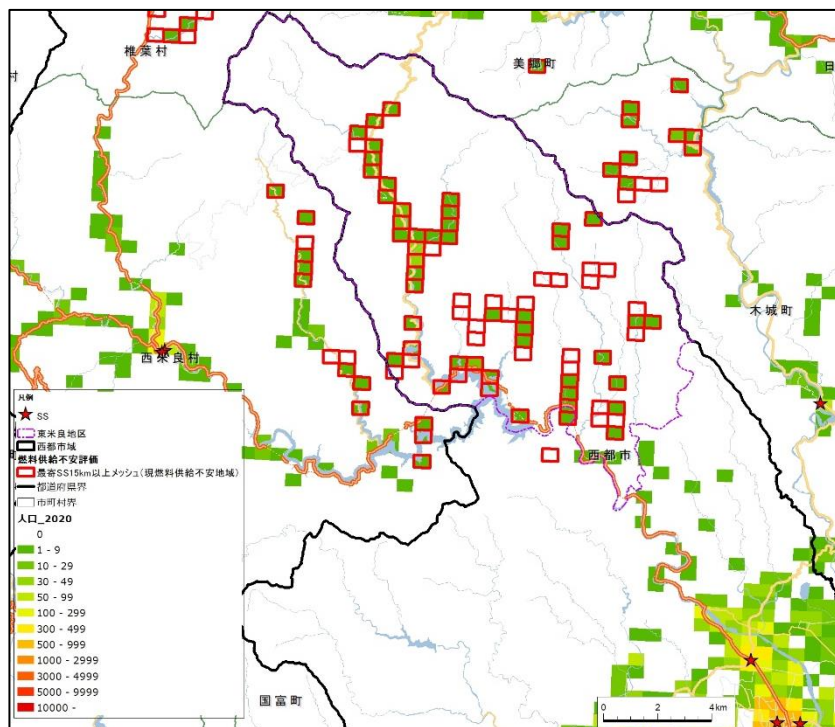


西都市防災マップと東米良SS設置候補地

【参考】東米良SSの整備効果（燃料供給不安地域の解消）

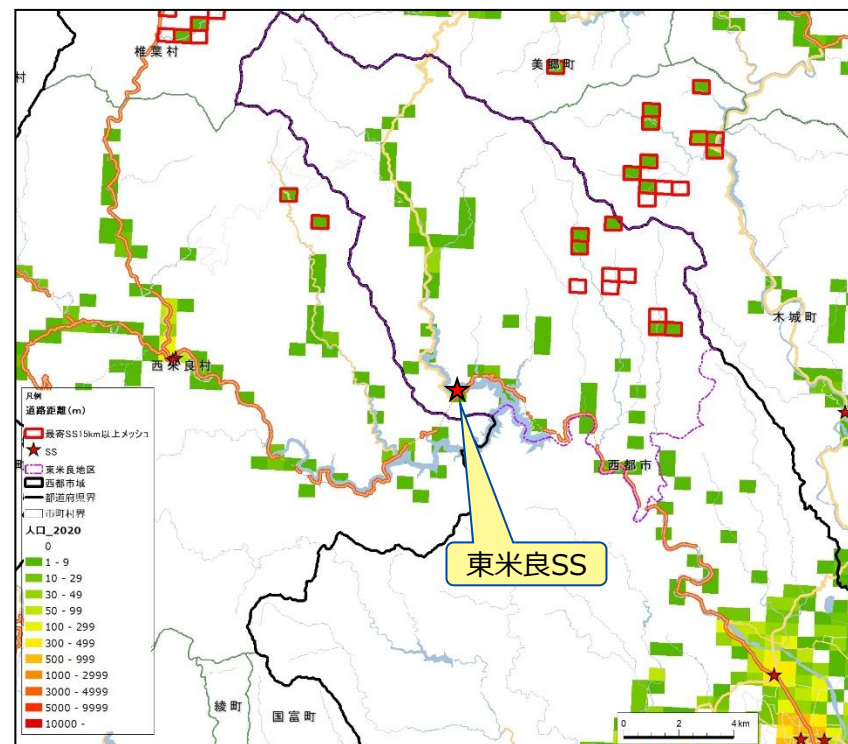
- 東米良地区（一の瀬地区）にSSが整備・再開された場合、現在の西都市東米良地区のほぼ全域及び西米良村の一部地域の燃料供給不安地域（最寄SSまで15km以上のエリア）は大幅に解消される。

○現在の燃料供給不安地域の分布



- 西都市：240人
 - 西米良村：34人
- ※2020年国勢調査人口による人口

○東米良SS整備後の燃料供給不安地域の分布



- 西都市：12人
 - 西米良村：3人
- ※2020年国勢調査人口による人口

4-2. 東米良地区における燃料供給拠点の整備計画

○東米良SSの機能及び施設配置

- ✓ 東米良SSの燃料販売量は、保守的な推計ではあるものの、現状での想定販売量は140KL程度であり、燃料販売による粗利単価（マージン）を全国の平均的な額とした場合、SS事業の粗利は200万円弱となる。これは、人件費を除いた運営費（ランニングコスト）を賄える最低限のラインといえる。
- ✓ また、今後の人口減少等に伴う需要減を想定すると、さらに粗利益額は減少する見通しであり、地域住民の積極的な利用や域外住民・事業者の利用促進を図ったとしても、燃料販売事業のみで人件費までを含めた収支を確保することが難しい。
- ✓ そのため、整備にあたっては、燃料供給以外の収益事業に関する施設・設備と一体的に整備し、相互に連携が可能な施設配置とする。
- ✓ 具体的には、東米良農村RMO事業として整備を進めている特産品（ジビエ）販売加工施設と一体的な運営を念頭とした施設配置とする。

<敷地内の設置機能イメージ>

○燃料供給機能

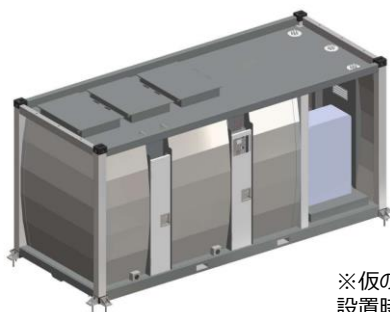
- ✓ コンテナ内に燃料タンク・計量機を設置した地上タンク設置型により燃料供給機能を配置する。（タンク容量は20KL程度、油種はレギュラーガソリン、軽油、灯油の3油種）
- ✓ 各種法令等に準拠するとともに、関係機関との協議調整により、必要な安全対策に関する設備等を設ける。

○特産品加工・販売機能

- ✓ ジビエ加工工場、販売店舗

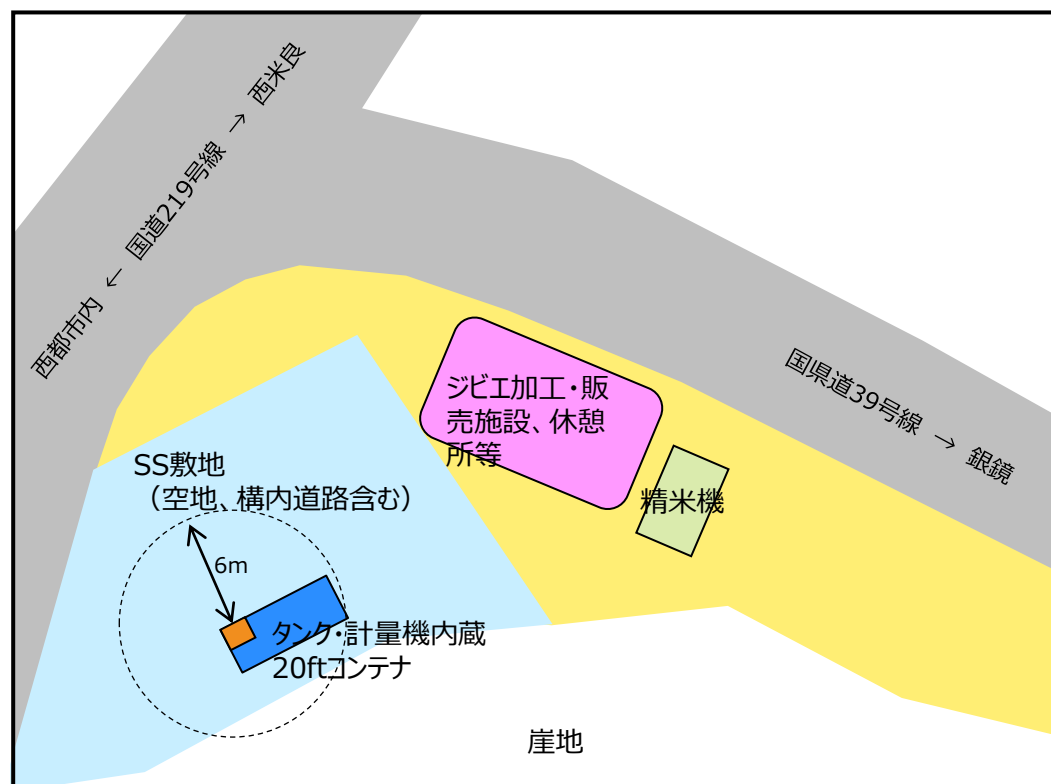
○その他

- ✓ 休憩スペース（簡易的な飲食も想定）、トイレ



※仮のデザインであり、実際の製造・設置時は変更になる可能性がある

コンテナイメージ（コモタ株式会社提供）



東米良SS（地上タンク設置型SS）配置イメージ

4-3. 東米良地区における燃料供給拠点の運営方策

東米良SSは、主に地域の住民や事業所、用務客等を対象として燃料供給を行うものであることから、地域づくり活動と一体的な運営とする。一方で、住民の福祉や利便性の確保、緊急時を想定した燃料備蓄拠点としての役割も有することから、行政においても燃料供給体制の確保に一定の関与を行うこととする。

○設置・運営主体

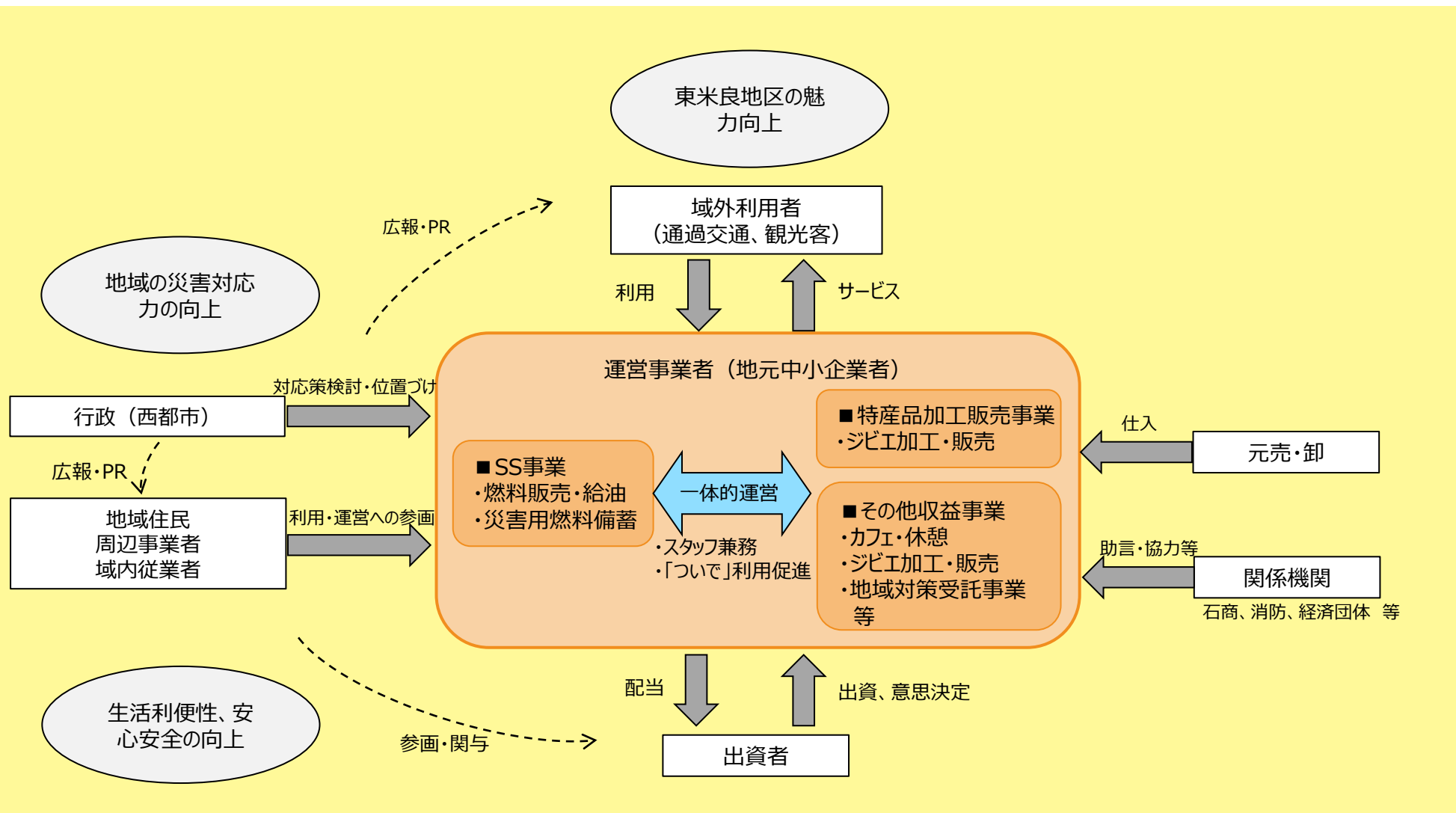
- ✓ 設置・運営主体は、令和5年度に整備している、特産品加工販売施設との一体的な運営が可能な民間の組織体とする。
- ✓ なお、SSの整備に国の補助金を有効に活用する場合、運営もしくは所有者は中小企業者であることが条件となる。そのため、例えば、特産品加工販売施設の事業主体であるNPO東米良創生会との円滑な連携が可能な地元事業者（既存、新規）による所有・運営や、地元事業者がSSを所有（整備・保有）し、NPO東米良創生会が運営を担うといったスキームも考えられる。
- ✓ 具体的な運営主体は、地域の関係主体との協議・調整により決定する。

○運営体制

人員	✓ 前述の販売量推計にもとづくと、SS事業単体での人件費の確保は困難である。そのため、特産品加工販売施設のスタッフとの兼務のみならず、他の事業所との兼務人材やボランティアスタッフ等を確保することが必要である。また、地元関係団体からの応援体制（例えば、緊急時対応可能な応援スタッフの確保、地域住民の危険物取扱主任者資格の取得等）を整備しておくことも望まれる。 ✓ また、少なくとも開業当初段階においては、ガソリンスタンド実務の経験者が運営に直接関与することも必要である。
仕入	✓ 安定的な調達先（仕入先）を確保する。東米良SSにおいては、1回あたりの仕入量が少量ロットとなる可能性が高いため、これらに対応できる石油卸・商社の協力が必要となる。
住民の関与	✓ 地域住民が、「自分たちのSS」として、積極的なSS利用は当然のこと、運営にも主体的・積極的に関与・参画していくことが必要である。 ✓ そのため、例えば、緊急時等を想定したボランティアスタッフ・応援スタッフ、東米良SSの域外へのPR・利用促進運動、経営への参画（住民出資）等の住民の関与・参画の機会を確保することが考えられる。
行政の関与	✓ SSの運営は民間運営主体が担うものの、住民の福祉や利便性の確保、緊急時を想定した燃料備蓄拠点としての役割も有することから、行政においても燃料供給体制の確保に一定の関与を行うこととする。 ✓ 具体的には、定期的な運営状況の報告・共有、公用車や公的施設の燃料の積極的な購入、緊急時の優先給油等が考えられる。 ✓ また、今後の運営状況に応じて、必要な対応策等について検討する。

4-3. 燃料供給拠点の事業計画イメージ

○東米良SSの事業スキームイメージ図



【参考】東米良SSの収支試算

【試算条件】

- ・ 燃料販売量：前述の販売量推計による
- ・ 粗利単価：令和4年度石油製品販売業経営実態調査におけるセルフSS平均による（競合を考慮した設定）
- ・ 経費：管理費は、光熱費、保守料、タンク気密検査費、計量機検定費、揮発油分析委託費のみ計上（地上タンクSS事例を考慮した設定）
- ・ 事業連携：令和5年度に整備する特産品加工販売施設との連携（スタッフ兼務）を想定し、SS人件費は1名のみを計上

※工事費、設備の減価償却費、借入を行った場合の返済は含めていない

【収入】

区分	油種	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	備考
販売数量（L/年）	灯油	13,787	13,409	13,030	12,651	12,273	11,894	11,571	11,247	10,924	10,600	10,277	10,016	9,755	9,494	9,233	8,973	価格差3円以内許容の回答者の購入量
	ガソリン	75,452	71,407	67,362	63,318	59,273	55,228	53,599	51,970	50,341	48,712	47,083	45,925	44,768	43,610	42,452	41,294	価格差3円以内許容の回答者の購入量
	軽油	24,993	24,977	24,962	24,946	24,930	24,914	24,897	24,879	24,862	24,844	24,827	24,815	24,802	24,790	24,777	24,765	価格差3円以内許容の回答者の購入量
粗利単価（マージン） （円/L）	灯油	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	令和4年度石油製品販売業経営実態調査におけるセルフSS平均+3円
	ガソリン	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2	令和4年度石油製品販売業経営実態調査におけるセルフSS平均+3円
	軽油	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	令和4年度石油製品販売業経営実態調査におけるセルフSS平均+3円
販売粗利額（円/年）	灯油	234,386	227,949	221,511	215,074	208,637	202,199	196,700	191,200	185,701	180,202	174,702	170,269	165,836	161,402	156,969	152,536	
	ガソリン	1,297,770	1,228,201	1,158,632	1,089,063	1,019,494	949,926	921,906	893,886	865,866	837,846	809,826	789,914	770,001	750,089	730,176	710,264	
	軽油	544,846	544,504	544,161	543,818	543,476	543,133	542,752	542,371	541,990	541,609	541,228	540,957	540,687	540,416	540,145	539,874	
	合計	2,077,002	2,000,654	1,924,304	1,847,955	1,771,607	1,695,258	1,661,358	1,627,457	1,593,557	1,559,657	1,525,756	1,501,140	1,476,524	1,451,907	1,427,290	1,402,674	

【支出】

区分	単位	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	備考
光熱費	円	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	売木村SS(地上タンク式SS)例による
保守料	円	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	システム利用料等（地上タンク式SS販売会社ヒアリングによる）
タンク気密検査費	円	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	基本は3年に1回だが売木は1年おき実施しているため年1回で計上
計量機検定費	円	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	検査は7年に1回の費用を積み立て
揮発油分析委託費	円	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	仕入先が確認供給者でない場合、1年契約。
経費（人件費除く） 計	円	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	1,645,000	
人件費	円	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	正社員月150,000円+パート月50,000円
交通費	円	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	月20000円
福利厚生費	円	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	430,800	月35900円
経費（人件費）	円	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,070,800	
経費 計	円	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,645,000	4,715,800	

【収支】

区分	単位	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	備考
収支（人件費除く）	円	432,002	355,654	279,304	202,955	126,607	50,258	16,358	-17,543	-51,443	-85,343	-119,244	-143,860	-168,476	-193,093	-217,710	-242,326	2025～2040計 224100円
収支（人件費含む）	円	-2,567,998	-2,644,346	-2,720,696	-2,797,045	-2,873,393	-2,949,742	-2,983,642	-3,017,543	-3,051,443	-3,085,343	-3,119,244	-3,143,860	-3,168,476	-3,193,093	-3,217,710	-3,313,126	2025～2040計 -47846700円

【参考】資源エネルギー庁 自治体によるＳＳ承継等に向けた取組支援事業補助金

○燃料供給に関する計画に基づく設備整備等事業 補助金 （R5FYの補助事業者：全国石油商業組合連合会）

<概要>

- ・ ＳＳ過疎地等における燃料供給拠点確保に向けて、ＳＳ過疎地等の自治体が策定した燃料供給に関する計画に基づき当該自治体又は揮発油販売業者が行う給油所の移転・統合・新設に伴う整備等の燃料供給体制構築に必要な設備整備・設備撤去等を行うための事業。ＳＳ過疎地等の自治体若しくは当該自治体の計画により整備等の対象となっている給油所を運営又は所有する揮発油販売業者であることが応募要件となります。

<補助率>

- ・ 上限 1 億円（西都市において、中小企業者が事業主体の場合） 補助率 3 / 4
 - ✓ ※中小企業者の定義 ＳＳ過疎地等の自治体又はＳＳ過疎地等の自治体が策定した燃料供給に関する計画において整備等の対象となっている給油所を運営若しくは所有する揮発油販売業者である中小企業者であること
 - ✓ 「中小企業者」とは、中小企業基本法（昭和 38 年法律第 154 号）に基づく中小企業者であって次のいずれにも該当しない者及び個人のことをいいます。（ア）資本金又は出資金が 5 億円以上の法人に直接又は間接に 100%の株式を保有される中小・小規模事業者（イ）補助金の交付の申請時において、直近過去 3 か年分の課税所得額の年平均額が 1.5 億円を超える中小・小規模事業者
 - ✓ その他、①当該補助事業の遂行に必要な能力、知識、経験を有していること ②当該補助事業を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ、資金等について十分な管理能力を有していること ③申請資格に関する誓約書及び暴力団排除に関する誓約書のいずれにも該当しないこと

<補助対象経費>

1) 事業費（設計費）

- ・ 給油業務を行うために必要な設備及び当該設備の整備に付随する構造物の整備に係る設計費に限ります。
- ・ 用地造成並びに建物、構築物（キャノピー、サインポール、防火塀等）及び補助対象外設備の整備に係るものを除きます。

2) 事業費（設備費） ■補助事業のために必要な設備を購入・設置するための経費

- ・ 給油業務を行うために必要な設備の整備に限ります。貯蔵タンク（注油・給油に必要な配管等を含む）、計量機、POS機器、電気設備、給排水衛生設備などが該当します。（設置に係る取付工事費用を含みます。）

3) 事業費（工事費） ■補助事業のために必要な土木工事に要する経費

- ・ 給油業務を行うために必要な設備の整備に付随する構造物の整備に必要な工事費（監理費用含む）に限ります。土間、アイランド、集水溝、油水分離槽などが該当します。
- ・ 用地造成並びに建物、構築物（キャノピー、サインポール、防火塀等）及び補助対象外設備の整備に係る工事費は対象外です。

4) 事業費（その他諸経費） ■その他補助事業を行うにあたって発生する必要経費

- ・ 補助事業を行うにあたって発生するその他の直接経費の実費が対象です。・内容は、国土交通省「公共建築工事共通費積算基準」の定める共通費のうち共通仮設及び現場管理費に準じます。

※上記は、令和5年度の募集要領に基づく内容である。

【過疎地SS事例】

広島県安芸高田市生桑地区 (株) ふれあい市 生桑SS

【地域の概況】

- 安芸高田市美土里町生桑地域は、広島県北部、島根県との県境に位置し、2020年国勢調査の人口は416人、高齢化率は53%である。

【給油所の概況】

- 生桑SSは、2012年に生桑振興会がJAから施設・土地を譲り受け、地元の事業者が経営する株式会社ふれあい市に運営を委託した。
- 平成24年度エネ庁補助事業によりSSの移設と店舗のリニューアルを実施し、現在に至っている。
- 油種は、ガソリン、軽油、灯油で、店舗（コンビニ）と一体的に運営している。
- 「ふれあい市」の経営者は、同署で機械工具販売会社も経営しており、両社は一体的に経営されている。
- 外商事業（生桑地域の産品を、呉市の朝市イベントで販売する等）や、地域の墓掃除や草刈り等も行っている。2014年～2017年までは、宅配便の配達代行も行っていたが、採算が悪く、途中で撤退した。

- 従業者数：3名（SS担当は1名であるが、「駆けつけ給油」により、店舗スタッフの給油対応も可能）
- 営業時間：8:00～ 18:00、定休日：木、日
- 給油設備：レギュラー、軽油、灯油、混合油
- 車両：灯油用ローリー1台、軽油用ローリー1台



ふれあい市 生桑SS



SS隣接のコンビニ店舗（ワイショップ）

【販売状況】

- 年間売り上げの約7割がSS事業の売上となっている。SS事業は収支均衡であるが、コンビニ事業は赤字となっている。
- 燃料販売の中心は灯油で、全体の半数近くを占める。利用者は個人客が中心となっている。
- 灯油は冬季の暖房、軽油は地元建設業1社の建設機材、冬季の除雪車、農繁期の軽油が中心となっている。
- 灯油配達先は約40件程度で、冬季の多い日は一日に10件以上回る。ほとんどがホームタンクを保有している。

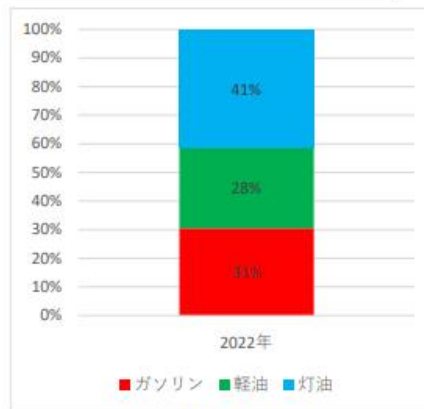


図 油種別販売量構成比

【過疎地SS事例】

【販売量の推移・動向等】

- 10年前と比較して、人口減少、高齢化の進展に伴い、燃料販売、店舗共に売り上げは約半減している。

【経営改善の取組・効果等】

＜コスト改善＞

- 平成24年度にエネ庁補助事業により、SSの幹線道路沿いへの移転、店舗リニューアルを行い、スタッフの行き来（駆けつけ給油）が可能となっている。

＜販売量拡大＞

- 収支マイナスであるが、地元の利用者に負担を強いるわけにはいかず、ふるさと市ブランド米の精米販売や、竹炭の販売等、域外からの売上獲得に向けた企画開発や営業展開も検討している。

＜人材確保＞

- 2022年から、安芸高田市の元地域おこし協力隊を社員として採用している。今後、同社員を中心に、SS事業のほか、新事業創出等にも取り組む予定としている。
- 2023年からは、市の地域おこし協力隊の生桑地区担当が、ふれあい市の仕事を手伝いながら、新たな企画等も一緒に動く予定としている。

【経営上の課題】

- 経営が厳しくなってきたため、今後、ふれあい市社長が経営している別会社（機械器具販売業）との経営統合等を含めて、抜本的な経営体制の見直しも必要と考えている。機械器具販売業との連携は、同社の販路を活用した特産品販売等の事業展開もしやすくなると考えている。
- 公的支援の面では、生桑振興会で運営したほうが補助金等が得やすい面がある一方、民間企業であるからこそその柔軟性や機動性があるとも考えている。新たな事業や収益源を確保しながら、営業を続けていきたいと考えている。

【ポイント】

- 人口減少により、燃料販売よりもコンビニ事業の採算が悪化している。
- 地元住民にとってなくてはならない存在となっており、収益確保のため、外販事業など新たな事業を模索。



図 事業別売上高の推移

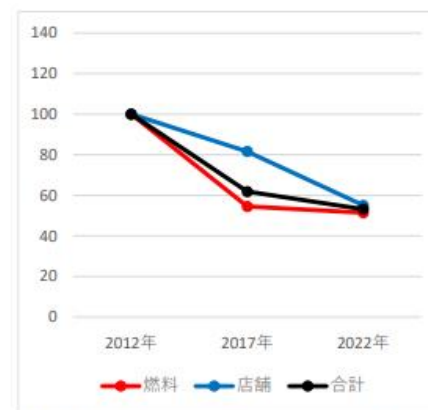


図 事業別売上高の増減（2012年＝100）



コンビニの店内



コンビニ店内からSSの様子を見ることができるモニター

高知県土佐町石原地区 （同） いしはらの里 いしはらの里SS

【地域の概況】

- 高知県土佐町石原地区は、高知県北部、土佐町の最西端に位置し、農畜林業を主要産業としている。2020年国勢調査による人口は288人、高齢化率は50%である。

【給油所の概況】

- 石原地区には、かつてJA土佐れいほく石原事業所があり、SSを含む複合型店舗が立地していたが、平成24年度より、いしはらの里協議会を事業主体とする「いしはらの里SS」として再開している。
- 現在は、いしはらの里合同会社（地域住民出資）により、店舗（「さとのみせ」）や各種地域活性化事業と併せて運営されている。
- 油種は、ガソリン、軽油、灯油で、平成24年度の再開にあたり、エネ庁事業を活用して、全油種簡易計量機による供給となっている。
- 仕入は、町内のJASSから、いしはらの里スタッフがドラム缶で週1回程度仕入れている。
- 灯油はミニローリーによる配達販売も行っている。

- 従業員数：1名 パート2名（役員兼務1） 危険物有資格者 3名
- 営業時間：9:00～ 17:30、定休日：土・日・祭
- 給油設備：簡易計量機（576L）×3（レギュラー、軽油、灯油）
- 車両：灯油用ミニローリー1台

【販売状況】

- 年間販売量の内訳は、ガソリンが約4割、軽油が約1割、灯油が約5割となっている。
- いしはらの里合同会社全体の売上のうち、SS事業の売上は12%、SS事業の収益は会社全体の収益の2%となっている。
- 会社としては、宿泊・交流事業等が収益の柱となっている。
- SS事業は収支ほぼ均衡であるが、人件費は店舗の経費で負担しているため、実質的には収支マイナスとなっている。
- SSの利用者は一日平均3人程度で、地元住民のほか、会社で運営している乗合送迎サービス（「チョイソコ」）、林業事業者等の利用がある。



いしはらの里SS

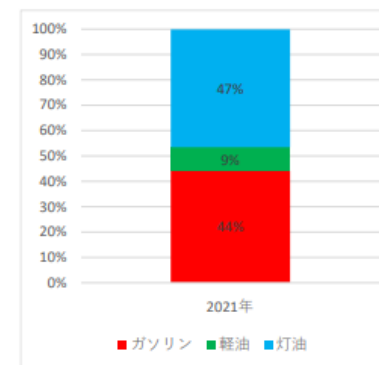


図 油種別販売量構成比

【過疎地SS事例】

【販売量の推移・動向等】

- 合同会社設立後の平成26年度と比較して、令和3年度のSS事業の売上は半分以下、店舗の売上も約半分に減少している。
- 人口減少のほか、平成27年に国道439号のバイパス（いしはらトンネル）が完成し、通過交通も立ち寄りにくくなったことも影響しているとみられる。
- 他方、会社全体の売上は、平成26年度と比較して3割程度増加している。

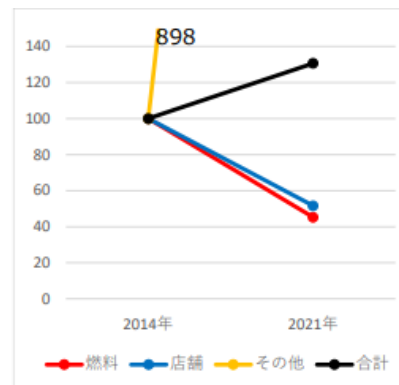


図 事業別売上高の増減（2014年＝100）

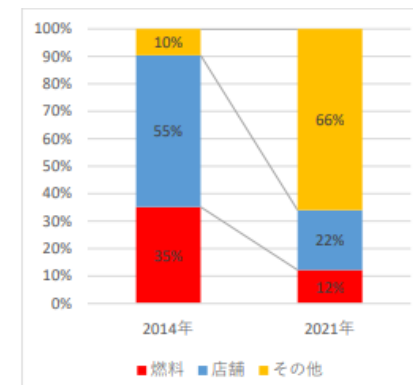


図 事業別売上高の変化

【経営改善の取組・効果等】

<コスト改善>

- 平成24年度にエネ庁補助事業により、灯油配達と連携した店舗商品の共同受発注システムの実証を行ったが、店舗で得られる利益がほとんどないため、現在は実施していない。
- 燃料の仕入は、簡易計量機であることやSS敷地が狭いこともあり、JASSからドラム缶で仕入れている。JAからは一定の値引きを得ているものの、一般的な燃料仕入よりもマージンは少ない。

<販売量拡大>

- SSの販売量は減少してきているが、宿泊・交流事業や林業、太陽光発電、直売所販売等が収益に大きく寄与している。

<人材確保>

- 店舗と併せて3名体制であり、従業員も最低限の人数で対応している。

【経営上の課題】

- 現在の立地では、タンクローリーが入れず、ドラム缶で仕入れるため仕入れコストが高い。
- 国道沿いの直売所「やまさとの市」は、まだ限定的な営業だが、今後集客が見込まれる施設であり、今後「やまさとの市」隣接地への移転（「駆けつけ給油」対応）を検討しているが、資金面が課題である。

【ポイント】

- 人口減少、高齢化が、燃料販売量や併設店舗の売上に大きく影響している。
- 住民出資の合同会社による運営により、「小さな拠点」として、活性化事業も含めて多様な事業展開が可能となっている。
- 直売所や宿泊・交流事業など、域外向けの売上が、経営の柱になってきている。

【過疎地SS事例】

岡山県津山市阿波地区 (同) あば村

■ 経緯

2005 年に旧阿波村が合併により津山市に編入した後、急速に地域の高齢化・人口減少が進行していました。2013 年に地域唯一の SS が1年後の撤退を表明し、これを受け地区の自治組織が住民の意向調査の結果を踏まえ、住民出資会社による運営を決断。2014 年に「合同会社あば村」を設立して、SS と店舗の運営を開始しました。SS を核とした小さな拠点づくりに取り組んでいます。

■ 主な取組内容・成果

- **地域住民の自分ごと化:** 全世帯向けのアンケートの実施により、危機感を共有しました。地域住民が運営に参加し、一人一人が支えるという意識を持つことができる法人形態として合同会社を選択し、住民約 170 名が合計約 210 万円を出資して会社を設立しました。
- **需要の確保:** 官公需の買い支えが大きく、公用車や路線バスの需要、冬場は除雪車向けの軽油の需要があります。温浴施設向けの灯油需要もあり、月によっては大半を占めています。
- **多角化の取組:** 合同会社あば村として、店舗運営、移動販売と併せた見守りのほか、農産物の加工・生産・販売、小水力発電等の様々な事業に取り組んでいます。売上は、平成 28 年度期から令和 2 年度期で約 1.6 倍に伸長しました。平成 28 年度期の売上はほとんどがガソリンでしたが、令和 2 年度期の売上はガソリン、物販がほぼ半分ずつを占めており、物販の伸びが売上伸長に大きな影響を与えています。



あば商店(店舗)



あば商店(SS)

出所) 資源エネルギー庁「SS過疎地対策ハンドブック」

高知県四万十市大宮地区 (株) 大宮産業

■ 経緯

2004 年、JA 出張所と併設されていた地区唯一の SS が翌年に撤退することになり、住民により SS や日用品・食料品の販売を継続していくために委員会を設立しました。検討を重ねた結果、100 名を超える住民が株主として計 700 万円を共同出資し、「株式会社大宮産業」を設立し、2006 年 5 月に SS と店舗の運営を開始しました。

■ 主な取組内容・成果

- **需要の確保:** 地区住民の大半が給油を大宮産業の SS で行っています。また、農業が地域の基幹産業であるため、農業用の混合ガソリンの供給も重要な役割となっています。
- **多角化の取組:** 併設する店舗では、食品・日用品の他、農業資材や酒、たばこなどを販売しており、順次販売品目を増やしています。店舗への来訪が困難な高齢者には、配達および店舗までの送迎サービスを行い、買い物需要を増やしています。
- **担い手の確保:** 地元住民の役員とパートで運営しており、パートが交代で店舗での接客と SS の給油を行っているほか、地域おこし協力隊にも協力してもらっています。危険物取扱者資格の講習代等の費用は大宮産業が全額負担しています。



大宮産業(店舗)



大宮 SS

出所) 資源エネルギー庁「SS過疎地対策ハンドブック」

【過疎地SS事例】

大分県杵築市太田地区 （同） おおた夢楽

■ 経緯

大田地区(旧大田村)唯一の SS 経営者は、高齢と地下タンクの更新期限を理由に、2021 年 12 月末での廃業を決めました。それを受けて、2021 年 7 月より、商工会を中心に市役所、大田ふるさとづくり協議会、専門家等による協議を行った結果、同協議会の会長が代表となって「合同会社おおた夢楽」を設立し、事業を承継して SS を運営することになりました。地下タンク改修の資金調達にガバメントクラウドファンディングを活用する等により、2022 年 2 月に開業しました。

■ 主な取組内容・成果

- 地域住民の自分ごと化:大田ふるさとづくり協議会の広報誌を毎月発行し、SS に関する情報や協議会の取組をタイムリーに伝えることで、地域住民の SS を残そうという危機感を作り上げていきました。また、ガバメントクラウドファンディングを通じて、地域住民のみならず地元出身者や地域に関係のある方の共感も得て、SS 維持に協力してもらうことができました。これらの取組により、開業後、住民も積極的に利用し、地域の SS を維持しようという動きが生まれています。
- 運営体制の構築:地域課題を解決する組織として、大田ふるさとづくり協議会の会長と賛同する有志で会社を設立することになりました。市担当者が地域内外の多様な主体を巻き込み、短期間での調整・体制構築を行いました。
- 担い手の確保:SS での勤務経験がある危険物取扱者の有資格者に市から依頼するとともに、地域の U ターン者が集まるイベントを通じて有資格者に協力してもらい、必要な従業員を確保することができました。
- 多角化の取組:社会福祉協議会と連携し、灯油配送と組み合わせた地域の高齢者の見守りを実施しています。他にも様々な油外事業を検討しています。



合同会社おおた夢楽 大田 SS

出所) 資源エネルギー庁「SS過疎地対策ハンドブック」

高知県梼原町四万川地区 (株) 四万川

まず第一歩として「地域を担う組織づくり」へ

生活、福祉、産業、防災など総合的な仕組みづくりの中で、まず第一歩として緊急性からガソリンスタンドの取り組みに向け、「地域を担う組織づくり」に取り組む、安定した燃料供給体制づくりをする事とした。

株式会社 四万川 設立

「地域住民の暮らしを守る」という強い思いから、地域住民が出資・参加する「地域住民が支える地域のための会社」(株)四万川を推進委員会の 17 名の委員が発起人となり、平成 25 年 9 月 5 日に将来四万川区を担う組織として設立した。



商号 : 株式会社 四万川
法人設立 : 平成 25 年 9 月 5 日
目的 : 1. ガソリン、軽油、灯油、オイル等の石油製品の販売
2. 一般乗用旅客自動車運送事業
3. 学生・生徒・園児の遊学を目的とする送迎業務
4. 交流・体験施設及び宿泊施設の管理運営
5. 日用雑貨及び食料品の販売 ほか、全 24 項目
出資金 : 800 万円 (株主 175 人)
営業開始 : 平成 26 年 4 月 26 日



将来的な事業展開と今後地域で担っていく役割を考え事業登記!

集落活動センター事業導入へ

平成 25 年 11 月 1 日には、集落活動センター推進事業の採択を受け、ガソリンスタンドの整備と併せて地場産品販売所や観光・体験資源も豊富な地域であり、四万川区の玄関口にもなることから交流人口の拡大に向け観光案内所、そして災害時でも燃料供給ができるよう太陽光発電施設を併設し、複合型燃料供給施設の整備を行った。

10

集落活動センター四万川 事業の導入へ

平成 25 年度 燃料供給等複合施設建設

(ガソリンスタンド・農産物・食料品販売・観光案内機能が備わった複合施設を新設、太陽光パネル10kw)
敷地面積 510㎡ (うち事務所・店舗棟 72㎡・整備棟 35㎡)
※敷地: 所有地 四万川区 四万川地区と株式会社四万川の間に土地賃借契約

総事業費 74,163 千円

財源内訳 : 高知県 30,000 千円、梼原町 30,000 千円、四万川区集落協定 5,600 千円、四万川区 8,563 千円

活動の場



11

出所) 平成 29 年度 地域運営会議・小さな拠点フォーラム資料

4-4. 実現に向けたプロセス

- 東米良地区内に燃料供給拠点（SS）を整備・確保、及び「地域のSS」として機能を維持していくため、以下のプロセスにより、可能な限り早期に取り組みを進めていく。

1. 事業主体（SSの所有者、運営者）の決定

※事業主体の決定には、整備に係る費用がどのくらいとなるかも影響するため、まずは、地盤の調査等、概算整備費の積算に必要な情報を収集することが必要である。

- 東米良地区の住民や関係団体を中心となって協議・調整し、SSの事業主体（所有者及び運営者）を決定する
 - 整備にあたり国の補助金を活用する場合、揮発油販売事業者である中小企業者が運営者もしくは所有者であることが条件（令和5年度要領に基づく場合）となる
- ※補助金を活用する場合の事業主体は、（補助金以外の資金調達を含め）整備や運営への責任を負う（例えば、補助金を活用して整備した施設が法定耐用年数を過ぎる前に閉鎖となった場合に補助金を返還する等）ことに十分留意することが必要

2. 整備内容、事業スキームの検討

- 敷地に関する調査（地盤、土壌等）、設置する機能や仕入先や仕入条件等を検討し、SSの具体的な仕様や機能、条件および事業スキームを定める

3. 設計、工事の実施

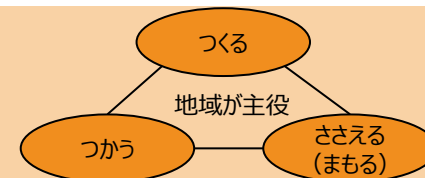
- 資金計画を立てたうえで、設計及び工事を実施する（設計・工事業者との契約、土間工事、躯体工事、コンテナ設置、設備機器等設置 等）
 - 工事完了後、必要な検査、登録、工事費支払 等を行う
- ※（補助金を活用する場合）補助事業の申請を行い、交付決定を得る（事業主体が補助事業申請を行う）

4. 開業準備、開業

- 開業に向けた、人員計画、資金計画等を含めた初年度の事業計画を作成する
- 広く利用を促進するための広報、販売促進等に取り組む
- 必要に応じて、揮発油販売業者をはじめとした必要な登録手続、災害時・緊急時を想定した協定の締結及びその他関係機関との連携・協力関係を構築する

5. 開業後

- 東米良SSは、西都市のSS過疎地対策として整備・運営されるSSであることから、その運営状況等については、定期的に、行政（西都市、西米良村）や関係機関において共有し、必要に応じて運営の見直しや対応策を検討する。
- SS運営に地域が主体的に関与し、「自分たちのSS」として運営を継続する。



付録資料

- ・西都市 S S 過疎地対策検討委員会（開催経過、委員名簿）
- ・アンケート調査票（住民アンケート、事業者アンケート）

西都市 S S 過疎地対策検討委員会

西都市 S S 過疎地対策検討委員会 開催経過 (会場はいずれも西都市役所 3 階庁議室)

開催日時・会場	会議名	議題
令和 5 年 1 0 月 3 1 日 (火) 1 0 : 0 0 ~	第 1 回西都市 S S 過疎地対策検討委員会	- 西都市 S S 過疎地対策計画策定の背景・趣旨 - S S 過疎地対策の現状 - 西都市における S S 過疎の現状と対策検討の方向性・進め方
令和 5 年 1 2 月 2 6 日 (火) 1 4 : 0 0 ~	第 2 回西都市 S S 過疎地対策検討委員会	西都市 S S 過疎地対策計画の骨子について
令和 6 年 1 月 2 6 日 (金) 1 0 : 0 0 ~	第 3 回西都市 S S 過疎地対策検討委員会	西都市 S S 過疎地対策計画 (案) について

西都市 S S 過疎地対策検討委員会 委員名簿 (敬称略)

役 職	所 属	氏 名
会 長	西都市・副市長	津曲 晋也
委 員	西都市・消防長	高山伊佐夫
委 員	西都市・市民課長	児玉 嘉久
委 員	西都市・危機管理課長	村岡 修一
委 員	西都市・農林課長	伊東 功一
委 員	西米良村・むら創生課長	土居 博和
委 員	宮崎県石油商業組合・事務局長	藤田 和弘
委 員	宮崎県石油商業組合・西都支部長	長友 秀夫
委 員	東米良地域づくり協議会・会長	坂本 光志
委 員	N P O 法人 東米良創生会・事務局長	石川 理恵
委 員	石川林業・代表	石川 浩
委 員	農業法人株式会社かぐらの里・代表取締役社長	濱砂 修司
委 員	JA西都・東米良支所長	中武 勉
委 員	宮崎県総合政策部中山間・地域政策課・課長	湯地 正仁
委 員	宮崎県農政水産部農政企画課中山間農業振興室・室長	梶原正太郎

オブザーバー：経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料流通政策室
 経済産業省 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 資源・燃料課
 事 務 局：西都市総合政策課
 株式会社価値総合研究所

燃料（灯油・ガソリン・軽油）の利用や購入についてのアンケート

西都市の東米良地区、西米良村の小川地区、越野尾地区の一部は、現在、最寄りのガソリンスタンドまでの距離が15km以上離れており、地域の住民や事業者の皆さまの燃料供給に不安が生じる状況となっています。

こうしたことから、今回、西都市では、西米良村と連携して、経済産業省の補助金を活用し、地域におけるガソリンスタンドの再開を含む燃料供給体制のあり方を検討することとなりました。

このアンケートは、地域の皆様の燃料購入やガソリンスタンド利用状況、今後、仮に地域にガソリンスタンドが再開された場合（※）の利用可能性などをお尋ねし、検討の基礎資料とすることを目的として行うものです。

※令和4年度に、東米良地区1000年協議会が、東米良地区の住民や関係者を対象に実施した、ガソリンスタンドに関するアンケート調査では、回答者の9割以上が「東米良地区にガソリンスタンドは必要である」と回答し、また、必要と回答した方の45%が、その設置場所として「一の瀬地区」が望ましいと回答しました。これを踏まえ、仮に「一の瀬地区」に「ガソリンスタンド」が開設された場合のことについても、お尋ねします。

なお、記入いただいた内容は全て統計的に処理され、個人が特定されることはございません。
ご多忙のところお手数をおかけいたしますが、何卒ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【調査主体】

西都市役所 総合政策課 政策企画係 TEL:0983-35-3866

西米良村役場 むら創生課 TEL:0983-36-1111

【ご回答いただくにあたって】

- このアンケートは1世帯に1枚配布しています。**世帯主または世帯の代表の方**がご回答ください。
- 記入いただいたこのアンケート用紙は、**11月30日(木)**までに、同封の返信用封筒（切手不要）によりご返送いただけますようお願い申し上げます。
（返送先は、調査委託先である（株）価値総合研究所（東京・千代田区）宛となります）

まず、世帯やご家族のことについてお尋ねします。

問1 あなたのお住まいはどちらですか。お住まいの大字名に○をつけてください。

地区	大字（お住まいの地名に○をつけてください）				
西都市	1. 上揚	2. 銀鏡	3. 八重	4. 中尾	5. 尾八重
東米良地区					
西米良村		1. 越野尾	2. 小川		

問2 あなたのご家庭の人数を、年代ごとにご記入ください。※ご自身を含めた人数

年代別の内訳					
0～14歳	人	15～34歳	人	35～49歳	人
				50～64歳	人
65～74歳	人	75～84歳	人	85歳以上	人
				合計	人

次に、問3～問9では、ご家庭での**灯油**のことについてお尋ねします。

問3 あなたのご家庭には、「**灯油**」を使う機器として、どのような機器がありますか。
次のなかから使用している機器をすべて選び、○をつけてください。

- 暖房機器（ストーブ、ヒーター等）
- ボイラー・給湯器（風呂、台所等）
- 農業用機器（温室、乾燥機等）
- その他（ ）
- 灯油は使わない→問10にお進みください

以下、問4～9は、問3の1～4でひとつ以上回答した方（灯油を使用している方）にお尋ねします。

問4 あなたのご家庭では、**灯油は、主にどうやって購入していますか。**
次のなかから主な購入方法をひとつ選び、○をつけてください。

- 自分や家族が直接店舗に行き、ポリタンク等で購入している
- 必要な時に電話等で注文し、配達してもらっている
- その他（ ）

問5 **灯油は、1年間で何リットルくらい購入しますか。**

※一般的な灯油ポリタンクの容量は18リットルです。例えば、灯油をポリタンクで5個購入している場合の購入量は、18リットル×5個＝90リットルとなります。

1年間で

リットル

問6 **灯油は、どこから購入していますか。**
次のなかから主な購入店舗をひとつ選び、○をつけてください。

- 西米良村村所のJASS
- 西米良村村所の柴下商店
- 西都市穂北の中武商事（TOSEKI）
- それ以外の西都市内のガソリンスタンド
- 西都市内のホームセンター（ナフコ、コメリ、ダイレックス）
- その他（ ）

問7 **今後、仮に、東米良地区の一の瀬交差点付近（以前、TOSEKIのスタンドがあった場所）にガソリンスタンドが再開された場合、そこで灯油を購入しますか。**

- 購入と思う
- 配達してくれるならそこで購入と思う
- そこでは購入しないと思う
- その他（ ）

問8 **仮に、東米良地区にガソリンスタンドが再開された場合、少ない販売量で運営費を確保するためには、市街地のガソリンスタンドよりも価格を高くせざるを得ない可能性があります。これに関して、どのくらいの価格差（何円くらい）であれば、東米良地区のガソリンスタンドで灯油を購入すると思いますか。**

1リットルあたり

円

高いくらいであれば、東米良地区のスタンドで灯油を購入する

※実は、多少価格が高くても、近所で灯油を購入したほうがお得！？

例えば、価格が安いところで灯油を購入するために、燃費15km/Lの自動車や往復30kmの道のりを走行すると、2Lのガソリンを消費することとなります。これは、ガソリン価格が175円/Lとすると350円分になりますので、地区内での灯油価格が10円/L高くても、35L（概ねポリタンク2個分）までであれば地区内で購入した方が安いということになります。

問9 **今後の灯油の購入に関して、どのような不安がありますか。**
次のなかからあてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

- 現在購入している店舗が閉鎖したり、配達をやめたりしてしまうのではないかと不安
- 豪雨などで道路通行止となった際に、しばらく灯油が入手できなくなるのではないかと不安
- 高齢になり、自分で車を運転して灯油を買いに行けなくなるのではないかと不安
- 特に不安はない
- その他（ ）

住民アンケート調査票

次に、問10～問23では、自動車用のガソリンや軽油のことについて1台ごとにお尋ねします。ご家庭で2台以上自動車を保有している場合は、2台目までお答えください。

1台目の自動車について

問10 その自動車を主に利用している人の年齢は何歳ですか。 歳

問11 その自動車の燃料は、ガソリンですか、軽油ですか。
☐ 1. ハイオクガソリン ☐ 2. レギュラーガソリン ☐ 3. 軽油（ディーゼル）

問12 その自動車は、1回の給油で何リットルくらい、そしてひと月あたり何回くらい給油しますか。（概ねの給油量、給油回数で結構です。）

【給油量】
1回あたり リットル で、 【回数】
ひと月あたり 回

※1カ月あたりの回数でご記入ください。例えば、2カ月に1回程度の場合は、0.5回とご記入ください。

問13 その自動車は、主にどこで給油していますか。
次のなかからひとつ選び、○をつけてください。

1. 西米良村所のJASS 2. 西米良村所の柴下商店
 3. 西都市穂北の中武商事（TOSEKI） 4. それ以外の西都市内のガソリンスタンド
 5. その他（店舗名： ）

問14 今後、仮に、東米良地区の一の瀬交差点付近（以前、TOSEKIのスタンドがあった場所）にスタンドが再開された場合、そこでガソリンや軽油を給油しますか。

1. ほぼそこで給油すると思う 2. 2回に1回くらいはそこで給油すると思う
 3. ほとんど利用しないと思う 4. その他（ ）

問15 仮に、東米良地区にガソリンスタンドが再開された場合、少ない販売量で運営費を確保するためには、市街地のガソリンスタンドよりも価格を高くせざるを得ない可能性があります。これに関して、どのくらいの価格差（何円くらい）であれば、東米良地区のガソリンスタンドでガソリンや軽油を給油すると思いますか。

1リットルあたり 円 高いくらいであれば、東米良地区のスタンドでガソリンや軽油を給油する

※実は、多少価格が高くても、近所でガソリンを給油したほうがお得！？
 例えば、価格が安いところでガソリンを給油するために、燃費15km/Lの自動車ですら30kmの道のりを走行すると、2Lのガソリンを消費することとなります。これは、ガソリン価格が175円/Lとすると350円分になりますので、地区内でのガソリンスタンドでの価格が10円/L高くても、35Lまであれば地区内でのガソリンスタンドで給油した方が安いということになります。

問16 概ね5年～10年後を想定した場合、そのお車は、どうなっていると考えますか。

1. 現在と同様に利用している 2. 買い替えている（ガソリン車ORディーゼル車）
 3. 電気自動車に買い替えている 4. 利用しなくなっている（廃車、売却等）
 5. その他（ ）

2台目の自動車について

問17 その自動車を主に利用している人の年齢は何歳ですか。 歳

問18 その自動車の燃料は、ガソリンですか、軽油ですか。
☐ 1. ハイオクガソリン ☐ 2. レギュラーガソリン ☐ 3. 軽油（ディーゼル）

問19 その自動車は、1回の給油で何リットルくらい、そしてひと月あたり何回くらい給油しますか。（概ねの給油量、給油回数で結構です。）

【給油量】
1回あたり リットル で、 【回数】
ひと月あたり 回

※1カ月あたりの回数でご記入ください。例えば、2カ月に1回程度の場合は、0.5回とご記入ください。

問20 その自動車は、主にどこで給油していますか。
次のなかからひとつ選び、○をつけてください。

1. 西米良村所のJASS 2. 西米良村所の柴下商店
 3. 西都市穂北の中武商事（TOSEKI） 4. それ以外の西都市内のガソリンスタンド
 5. その他（店舗名： ）

問21 今後、仮に、東米良地区の一の瀬交差点付近（以前、TOSEKIのスタンドがあった場所）にスタンドが再開された場合、そこでガソリンや軽油を給油しますか。

1. ほぼそこで給油すると思う 2. 2回に1回くらいはそこで給油すると思う
 3. ほとんど利用しないと思う 4. その他（ ）

問22 仮に、東米良地区にガソリンスタンドが再開された場合、少ない販売量で運営費を確保するためには、市街地のガソリンスタンドよりも価格を高くせざるを得ない可能性があります。これに関して、どのくらいの価格差（何円くらい）であれば、東米良地区のガソリンスタンドでガソリンや軽油を給油すると思いますか。

1リットルあたり 円 高いくらいであれば、東米良地区のスタンドでガソリンや軽油を給油する

問23 概ね5年～10年後を想定した場合、そのお車は、どうなっていると考えますか。

1. 現在と同様に利用している 2. 買い替えている（ガソリン車ORディーゼル車）
 3. 電気自動車に買い替えている 4. 利用しなくなっている（廃車、売却等）
 5. その他（ ）

最後に

問24 最後に、燃料購入やガソリンスタンドに関する不安、ご意見等ございましたら自由にお書きください。

アンケートは以上です。このアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて

11/30(木)までにご投函ください。ご協力ありがとうございました。

事業者アンケート調査票

東米良地区の事業所における 燃料（灯油・ガソリン・軽油）の利用・購入状況調査

西都市の東米良地区は、現在、最寄のガソリンスタンドまでの距離が15km以上離れており、地域の住民や事業者の皆さまの燃料供給に不安が生じる状況となっています。

こうしたことから、今回、西都市では、西米良村と連携して、経済産業省の補助金を活用し、地域におけるガソリンスタンドの再開を含む燃料供給体制のあり方を検討することとなりました。

このアンケートは、地域に関係する事業者の皆様への燃料購入やガソリンスタンド利用状況、今後、仮に地域にガソリンスタンドが再開された場合（※）の利用可能性などをお尋ねし、検討の基礎資料とすることを目的として行うものです。

※令和4年度に、東米良地区1000年協議会が、東米良地区の住民や関係者を対象に実施した、ガソリンスタンドに関するアンケート調査では、回答者の9割以上が「東米良地区にガソリンスタンドは必要である」と回答し、また、必要と回答した方の45%が、その設置場所として「一の瀬地区」が望ましいと回答しました。これを踏まえ、仮に「一の瀬地区」に「ガソリンスタンド」が開設された場合のことについても、お尋ねします。

ご多忙中のところお手数をおかけいたしますが、何卒ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【調査主体】

西都市役所 総合政策課 政策企画係 TEL:0983-35-3866

【調査実施機関】（西都市からの調査委託先）

株式会社価値総合研究所 TEL:03-5205-7902 MAIL:chousa@vml.co.jp

※ご記入いただいたこのアンケート用紙は、**11月30日(木)**までに、東米良創生会（石川様）宛に、ご提出いただきますようお願い申し上げます。

まず、貴事業所のことについてお尋ねします。

問1 事業所の概要についてご記入ください。

企業・団体名、事業所名	例：〇〇株式会社〇〇支店 〇〇旅館 〇〇産業〇〇工場
具体的な事業内容	例：〇〇の生産・加工、販売 〇〇関連のコンサルティング等
所在地	例：西都市銀鏡
従業者数（現時点）	（ ）人 うち、東米良地区内に居住する従業者（ ）人
東米良地区との関わり	1. 東米良地区内に事業所がある 2. 東米良地区内に現場や取引先がある 3. その他（ ）

次に、問2～問6では、貴事業所で使用する灯油のことについてお尋ねします。

問2 貴事業所では、灯油を使用していますか。 使用している場合は、年間の使用量もお答えください。

1. 使用している → 年間（ ）リットル …… 問3～問6にもお答えください。
2. 使用していない …… 問7以降にお進みください。

問3 貴事業所では、灯油は、主にどのような用途で利用していますか。 次のなかから灯油を利用している機器をすべて選び、○をつけてください。

1. 暖房機器（ストーブ、ヒーター等）
2. ボイラー・給湯器（風呂、台所等）
3. 事業用機械・機器（具体的に： ）
4. その他（ ）

問4 貴事業所では、灯油はどこで購入していますか。主な購入先2つまでについて、 ①購入先、②年間購入量 ③購入方法 ④購入理由をそれぞれお答えください。

①灯油購入先 (店舗名)	②年間購入量	③購入方法 (該当するものに○)	④そこから購入する理由 (下のリストから番号を選択)
	ℓ	1 店舗で購入 2 配達してもらう 3 その他	
	ℓ	1 店舗で購入 2 配達してもらう 3 その他	

1. 価格が安いから
2. ポイントや割引などのサービスがあるから
3. 事業所、現場や取引先に近いから
4. ほかの用務のついでに購入できるから
5. 営業時間が長いから
6. 以前から付き合い・取引があるから
7. 売掛など融通がきくから
8. 配達が柔軟・迅速だから
9. その他（ ）

問5 今後、仮に、東米良地区の一の瀬交差点付近（以前、TOSEKIのスタンドがあった場所）にガソリンスタンドが再開された場合、そこで灯油を購入しますか。

1. 購入すると思う
2. 灯油を配達してくれるならそこで購入すると思う
3. そこでは購入しないと思う
4. その他（ ）

問6 仮に、東米良地区にガソリンスタンドが再開された場合、少ない販売量で運営費を確保するためには、市街地のガソリンスタンドよりも価格を高くせざるを得ない可能性があります。これに関して、どのくらいの価格差（何円くらい）であれば、東米良地区のガソリンスタンドで灯油を購入すると思いますか。

1リットルあたり 円 高いくらいであれば、東米良地区のスタンドで灯油を購入する

次に、問 7～問 9 では、貴事業所での**ガソリン**のことについてお尋ねします。

問 7 貴事業所では、自動車（社用車、営業車など。バイク含む。）用として、ガソリンをどのくらい使用していますか。

(1) ガソリンを燃料とする自動車の台数 () 台 うちバイク：() 台
※ガソリンを燃料とする自動車の利用が無い場合は、「0」と記入し、問 10 にお進みください。

(2) 年間のガソリン利用量 年間 () リットル (全ての車両の使用量合計)

(3) 主な給油先（購入先）

給油先 (給油所名)	年間給油量	そこで給油する理由 (下のリストから番号を選択)
	ℓ	
	ℓ	
	ℓ	

1. 価格が安いから
3. 事業所、現場や取引先に近いから
5. 営業時間が長いから
7. 売掛など融通がきくから
9. その他 ()
2. ポイントや割引などのサービスがあるから
4. ほかの用務のついでに給油できるから
6. 以前から付き合い・取引があるから
8. 好きなブランドだから

問 8 今後、仮に、東米良地区の一の瀬交差点付近（以前、TOSEKI のスタンドがあった場所）にガソリンスタンドが再開された場合、そこでガソリンを給油しますか。

1. ほぼそこで給油と思う
3. ほとんど利用しないと思う
4. その他 ()
2. 2 回に 1 回くらいはそこで給油と思う

問 9 仮に、東米良地区にガソリンスタンドが再開された場合、少ない販売量で運営費を確保するためには、市街地のガソリンスタンドよりも価格を高くせざるを得ない可能性があります。これに関して、どのくらいの価格差（何円くらい）であれば、東米良地区のガソリンスタンドでガソリンを給油すると思いますか。

1 リットルあたり () 円 高いくらいであれば、東米良地区のスタンドでガソリンを給油する

次に、問 10～問 12 では、貴事業所での**軽油**のことについてお尋ねします。

問 10 貴事業所では、自動車（トラック等）や建設機械（ショベルカー、クレーン車等）、産業用機械などの燃料として、軽油をどのくらい使用していますか。

(1) 軽油を燃料とする車両・建設機械等の台数

ディーゼル自動車の台数 () 台 建設機械等の台数 () 台
その他【用途： () () 台

※軽油を燃料とする車両・機械等が無い場合は、「0」と記入し、問 13 にお進みください。

(2) 年間の軽油利用量 年間 () リットル (全ての自動車・機械等の使用量合計)

(3) 主な給油先（購入先）

給油先 (給油所名)	年間給油量	そこで給油する理由 (下のリストから番号を選択)
	ℓ	
	ℓ	
	ℓ	

1. 価格が安いから
3. 事業所、現場や取引先に近いから
5. 営業時間が長いから
7. 売掛など融通がきくから
9. その他 ()
2. ポイントや割引などのサービスがあるから
4. ほかの用務のついでに給油できるから
6. 以前から付き合い・取引があるから
8. 好きなブランドだから

問 11 今後、仮に、東米良地区の一の瀬交差点付近（以前、TOSEKI のスタンドがあった場所）にガソリンスタンドが再開された場合、そこで軽油を給油しますか。

1. 良く利用すると思う
3. ほとんど利用しないと思う
4. その他 ()
2. 現場や事業所に軽油を配達してくれるなら利用すると思う

問 12 仮に、東米良地区にガソリンスタンドが再開された場合、少ない販売量で運営費を確保するためには、市街地のガソリンスタンドよりも価格を高くせざるを得ない可能性があります。これに関して、どのくらいの価格差（何円くらい）であれば、東米良地区のガソリンスタンドで軽油を給油または購入すると思いますか。

1 リットルあたり () 円 高いくらいであれば、東米良地区のスタンドで軽油を給油または購入する

次に、問 13～問 15 では、貴事業所での災害時を想定した
燃料備蓄等についてお尋ねします。

問 13 貴事業所では、災害時を想定した燃料の備蓄をしていますか。
次のなかから、最もあてはまるものをひとつ選び、○をつけてください。

1. 災害時を想定した燃料の備蓄をしている ・ ・ ・ ・ ・ 問 14 にお進みください
2. 災害時を想定した燃料の備蓄をしていない ・ ・ ・ ・ ・ 問 15 にお進みください
3. その他
()

問 14 (問 13 で「1. 災害時を想定した燃料の備蓄をしている」と回答した方にお尋ねします。)

具体的に、どの油種を、どのくらい備蓄していますか。
油種毎に、備蓄量、備蓄方法及び備蓄の目的や備蓄量の根拠をご記入ください。

油種	備蓄量	備蓄方法	備蓄の目的、備蓄量の根拠
回答例	100 ℓ	発電機のタンク内、ドラム缶	冷蔵庫の電源を喪失しないよう、発電機を3日間稼働できる量
灯油	ℓ		
ガソリン	ℓ		
軽油	ℓ		

問 15 (問 13 で「2. 災害時を想定した燃料の備蓄をしていない」と回答した方にお尋ねします。)

災害時の燃料の備蓄や確保について、どのようにお考えですか。
次のなかから、あてはまるものをひとつ選び、○をつけてください。

1. 今後、自分たちで災害時を想定した燃料の備蓄をしたいと考えている
2. 自分たちで燃料の備蓄はしないが、東米良地区内に一定の備蓄があるとよい
3. 自分たちで燃料の備蓄はしないが、緊急時は関係先から燃料が入手できるようになっている
4. 災害時を想定した燃料の備蓄は特に必要ないと考えている (特に困らない、不安はない)
5. その他 ()

最後に、東米良地区における燃料購入やガソリンスタンド利用に関する不安、ご意見等
ございましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

西都市SS過疎地対策計画
令和6年1月
西都市総合政策課
(調査・策定委託)  株式会社 価値総合研究所
日本政策投資銀行グループ